

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	あやかりの杜滞在型施設活用事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)	
担当部署名	生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成24年度～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 1-(1)	
事業内容	・長期滞在型の宿泊施設、キャンプ場等がある「あやかりの杜」を活用し、野外活動を中心とした体験交流事業とインストラクター養成等を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,000				
		(b) 予算現額	2,000				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,000				
	B. 執行済額		2,000				
	うち交付金充当額		1,600				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	体験交流事業:2事業	目標	(2事業)	()	()	()	
		実績	2事業				
	体験交流人数:50人	目標	(50人)	()	()	()	
		実績	104人				
達成状況説明	・体験交流事業として「親子アウトドア料理教室(2回)」と「チョウが舞う杜プロジェクト」を実施し、地域子ども会や村内外の親子等が参加し、交流を深めることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	体験交流人数:50人	目標	()	(50人)	()	()	()
		実績		104人			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・実施した体験交流事業数が、2事業にとどまったこともあり、十分なインストラクター養成までに至っていない。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・野外活動を通じた体験交流事業を実施したが、初年度ということもあり、当該施設の滞在施設及びキャンプ場の利用者増加に結びつけられていない。 ・冬季における滞在施設及びキャンプ場の利用推進のため、工夫した事業内容の検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当該施設の指定管理者に事業を委託しているため、事業計画等の作成について、左記の留意点を踏まえ、事業参加者及び施設利用者がより楽しめる内容検討・調整が必要である。

今後の取り組み方針

・災害時に役立つ野外料理やロープ活用術、動植物の観察といった野外における体験交流事業を拡充し、滞在施設及びキャンプ場の利用促進を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,000	2,000	1,600	400	



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・受託事業者は施設の指定管理者であり、当該施設に熟知していることを勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	歴史文化散策路ネットワーク整備構想・計画調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)		
担当部課名	企画開発課	事業実施（予定）年度	平成24年度～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 1-(1)		
事業内容	・誘客を図るため、世界遺産「中城城跡」を核として、村内にある歴史文化遺産の活用と、村の魅力を発信するため、徒歩で周遊できる散策遊歩道整備の計画を作成する。今年度においては、本村全体の散策路ネットワーク構想と「喜舎場・仲順」地区の散策路実施計画、「島袋・比嘉」地区の基本計画を策定した。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,179				
		(b) 予算現額	10,179				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	10,179				
	B. 執行済額		9,756				
	うち交付金充当額		7,804				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		95.8%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	重点地区の計画策定	目標	(重点地区の計画策定)	()	()	()	
		実績	重点地区の計画策定				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・本村を6地域に区分し、各地域の歴史文化資源や景観特性、課題を整理し、村全体の村散策路ネットワーク構想を策定した。 ・重点地区の「喜舎場・仲順」地区において、現場調査・住民意向調査を実施し、散策路整備に向けた実施計画を策定した。 ・重点地区の「島袋・比嘉」地区において、現場調査・住民意向調査を実施し、散策路整備に向けた基本計画を策定した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	重点地区の計画策定	目標	()	(重点地区の計画策定)	()	()	()
		実績		重点地区の計画策定			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・重点地区の「喜舎場・仲順」地区において、今後、実施設計を実施し、散策路整備の具体化を進める。 ・重点地区の「島袋・比嘉」地区において、「アワセゴルフ場跡地」のまちびらきに合わせて、地域住民の意向や、現場調査を進め、散策路整備の実施計画・実施設計を進める。					

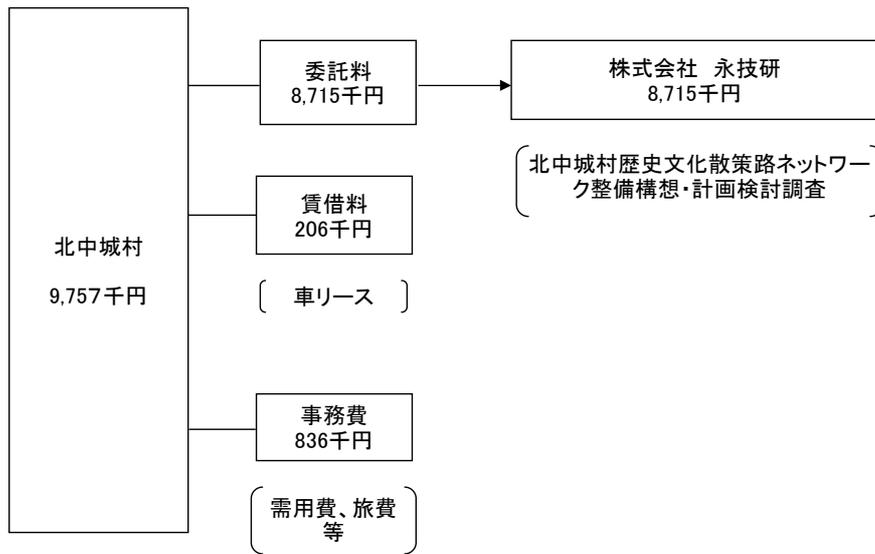
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・散策路整備後における観光客等の利用への周知方法と、散策路を活用したイベント開催(ウォークラリーなど)を、工夫を凝らしたソフト事業の検討が必要である。	・散策路整備重点地区において、地域住民と「試しあるき」を行い、地域の資源等の再確認をし、そこでの意見等を散策路整備に活用する必要がある。

今後の取り組み方針

・上記、取組の検証を踏まえ、重点地区の「喜舎場・仲順」地区の実施設計を行う。また、同じく重点地区である「島袋・比嘉」地区についても、今後、開発される「アワセゴルフ場返還地区」と連携した魅力ある散策路整備の実施設計画策定に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,757	9,757	7,804	1,953	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流 れ、費 目・ 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	・受託事業者は指名競争入札方式により選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	北中城まつり活性化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)		
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度～平成33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成		
事業内容	・県内外の誘客及び村民コミュニケーション醸成を図るため、夏場の祭りとして、沖縄の伝統文化である「青年エイサー」、秋場の「北中城まつり」の開催、そして冬場の祭りとして、沖縄の温暖な気候を活かした日本一早い「ひまわりまつりin北中城」を開催する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	12,072				
		(b) 予算現額	12,392				
		(c) 増減額 (b-a)	320				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	12,392				
	B. 執行済額		12,225				
	うち交付金充当額		9,779				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		98.7%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	まつりの実施	目標	(3回)	()	()	()	
		実績	3回				
	まつりの開催日数	目標	(20日)	()	()	()	
		実績	20日				
達成状況説明	・「北中城村青年エイサーまつり」:9月23日開催、「北中城まつり」11月17日～18日開催、「ひまわりIN北中城」:平成25年1月26日～2月11日開催。合計20日開催し、県内外からの誘客を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	三大祭りにおける来場者数	目標	()	(10万人)	()	()	()
		実績		11.1万人			
	地元産業事業者参画数	目標	()	(40団体)	()	()	()
		実績		37団体			
	進捗状況説明	・三大祭りの来場者「北中城村青年エイサーまつり」:6,000人、「北中城まつり」:8,000人、「ひまわりIN北中城」は97,000人で、目標値より1万1000人増となった。しかし、村内三大祭り出店団体は目標としていた40団体には届かず、37団体となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・多くのまつり来場者が北中城村に訪れているが、来場者を村内事業所や観光施設に誘客する仕組みが少ない。また、村内の農水産物の販売促進等による一次産業発展及び、新しい加工品等の試験販売を促し、本村の特産品の創出環境の整備も必要である。</p>	<p>・まつり来場者に対し村内の観光施設や飲食店への誘客を図る為のさらなる工夫が必要である。本村の農家、漁民等へまつりへの積極的な参加を促すことで、一次産業の発展や北中城の特産品の創出、PRを積極的に実施する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・まつり期間中に村内事業所及び観光施設のPRを実施する為のブース等を設置する。また、全てのまつりにおいて、村内事業所等と連携してまつり来場者へ村内お得情報等を作成し配布する。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	12,225	12,225	9,779	2,446	0
<pre> graph LR A[北中城村 12,225千円] --> B[補助金 11,220千円] A --> C[賃金 1,005千円] B --- D[北中城村まつり活性化委員会補助金] C --- E[臨時職員賃金×1名] </pre>					
資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・村内各種団体が委員として参加しているまつり活性化委員会を補助事業所とすることで、村の文化財や特産品を活用、PRしたまつりが開催できた。また、村全体で協力体制を構築しながら取り組むことができ、コミュニティ向上に繋がった。さらに、臨時職員を配置することで、各種団体との調整がスムーズに実施できた。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	音楽で村づくり支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)		
担当部課名	教育総務課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 1-(1)		
事業内容	・村内の各イベントや各自治会におけるまつり等と子どもたちの音楽活動を融合させ、幅広い世代による地域活性化と魅力ある観光地形成を目指す。その初年度として、子ども達がより充実した活動が行えるよう楽器等の器材を購入する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,501				
		(b) 予算現額	13,501				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	13,501				
	B. 執行済額		11,435				
	うち交付金充当額		9,147				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		84.7%				
予算の状況の説明		・不要額が2,066千円発生しているが、備品購入費の入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	北中城まつりにおける音楽発表	目標	(3校)	()	()	()	
		実績	2校				
	楽器の購入	目標	(50種類)	()	()	()	
		実績	47種類				
達成状況説明	・北中城まつりにおいては、1日目に北中城小学校金管バンド、2日目に北中城中学校吹奏楽部がオープニングセレモニーとして演奏を披露し、まつりの活性化に寄与できた。 ・楽器の購入については、50種類の購入目標に対し、47種類を揃えることができたので概ね達成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	北中城まつりにおける音楽発表	目標	()	まつりにおける音楽発表	()	()	()
		実績		まつりにおける音楽発表(2校)			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・整備された楽器により、地域のイベントに積極的に参加できるようになった。本村の三大まつりにあたる北中城まつりにおいては、村内のすべての公立小中学校(3校)が日程の都合により参加することができなかったが、2小中学校が演奏を披露し、地域活性化に役立つことができた。					

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	荻道・大城湧水群周辺環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)	
担当部課名	企画開発課	事業実施（予定）年度	平成24年度～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 1-(1)	
事業内容	・平成の名水百選に選ばれた湧水群について、新たな観光資源としての活用を目指し、水質の調査や、世界遺産「中城城跡」のすぐ近くに点在するという環境を活かし、湧水群周辺整備調査を実施するとともに、今後の活用方針や整備方針を湧水群活性化実行委員会と協議する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,230				
		(b) 予算現額	7,230				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	7,230	0			
	B. 執行済額		6,489				
	うち交付金充当額		5,191				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		89.8%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	湧水群周辺整備調査の実施	目標	（基本構想策定）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	基本構想策定				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	・現地踏査や実態調査、湧水群活性化実行委員会と協議し、今後の整備課題・方針を協議できた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	湧水群活用基本構想策定	目標	（ ）	（基本構想策定）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		基本構想策定			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明	・現地踏査や実態調査、湧水群活性化実行委員会との協議を踏まえ、今後は基本計画・実施計画を策定し、「平成の名水百選」に相応しい整備計画に取り組む。					

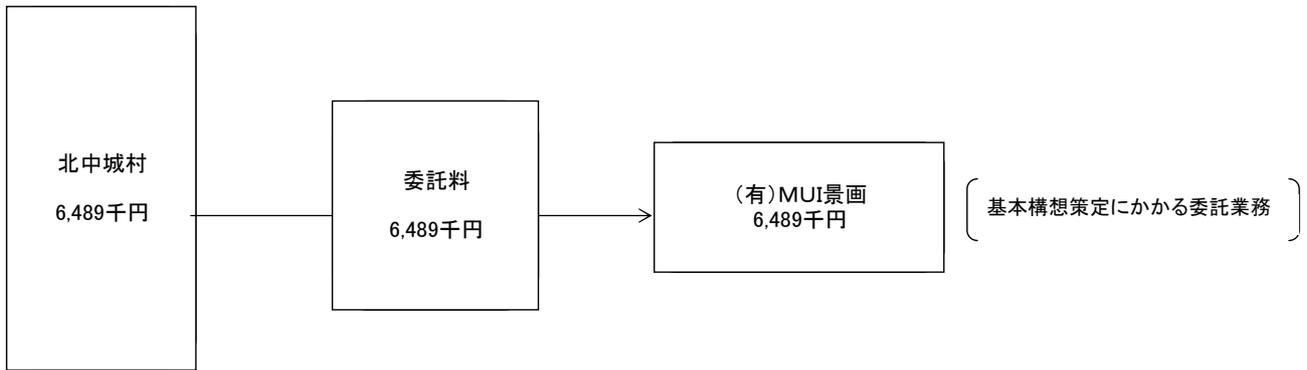
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・湧水群(10カ所)は荻道・大城地区に広く点在するするため、観光客等の誘客を図るための各湧水への案内及び周遊するための拠点整備が必要な反面、湧水群周辺の自然環境保全にも考慮しなければならない。</p>	<p>・荻道、大城地域の住民で構成される湧水群活性化実行委員会と引き続き、整備について協議していく必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・湧水群周辺の自然環境保全の方策と新たな観光資源としての活用について、地域住民や湧水群活性化実行委員会と更に協議し、基本計画、実施計画の策定に向け取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,489	6,489	5,191	1,298	



資金の流 れの点 検・費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・受託事業者は指名競争入札方式により選定しており、妥当であったと考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	東海岸まちづくり構想策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)		
担当部課名	企画開発課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 1-(1)		
事業内容	・本村の東海岸域はアーサ（ヒトエグサ）の産地であることから、魅力ある「食」の観光資源としての活用と、特色ある観光地を目指した都市的基盤整備を行うため、東海岸地域まちづくり構想を策定する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,933				
		(b) 予算現額	11,933				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	11,933	0			
	B. 執行済額		11,411				
	うち交付金充当額		9,128				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		95.6%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	東海岸地域まちづくり基本構想策定	目標	（基本構想策定）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	基本構想策定				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明		・現地踏査や実態調査、地権者及び住民意向調査を実施することにより、課題の抽出を含んだ基本構想を策定した。					
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	東海岸地域まちづくり基本構想策定	目標	（ ）	（基本構想策定）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		基本構想策定			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明		・防災対策を講ずることを前提に、東海岸地域の発展に向けて関係機関との協議や更なる地権者及び住民の意向の取りまとめ等課題が明らかになった。				

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・当該区域のほとんどが海拔3m未満であるため、津波への防災・減災を考慮したまちづくりが必要である。 ・農業振興地域に指定された区域があるが、そのほとんどが遊休地化しており、その区域除外において、地権者の土地活用のニーズ集約、関係機関との調整が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県全体の海岸地域に対する防災計画及び対策方法について、沖縄県の防災担当部署とも連携し、当該地区の災害に強いまちづくりを推進する必要がある。
	今後の取り組み方針	
<p>・本村の東海岸地域における低未利用地(遊休農地等)の有効的な土地利用を図るため、津波等の災害に強い防災基盤施設等の整備と併せて、魅力ある「食」の資源を活かした特色ある観光地として都市的基盤整備を行うため、関係機関との協議を行い基本計画策定を目指す。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	11,411	11,411	9,128	2,283	
<pre> graph LR A[北中城村 11,411千円] --> B[委託料 10,332千円] A --> C[事務費 1,079千円] B --> D[玉野総合コンサルタント(株)] C --> E[賃金] D --- F["基本構想策定にかかる委託業務"] </pre>					

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者選定においては、指名方プロポーザル方式を採用し、企業組織、知識、実績等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

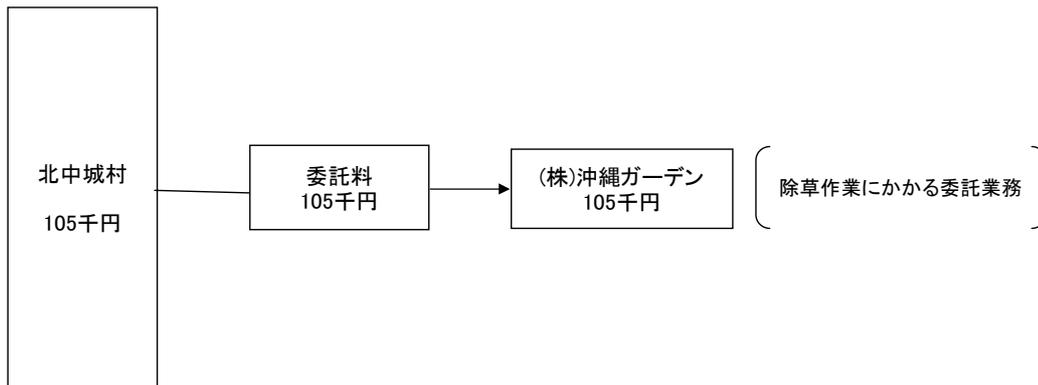
市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	観光コミュニティバス導入検討事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)	
担当部課名	企画開発課	事業実施(予定)年度	平成24年度～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 1-(1)	
事業内容	・村内にある観光資源をターゲットとした観光コミュニティバス導入に向け、本村の観光特性・交通特性・課題を把握し、交流活性化の具体策とモデル事業への検討を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,500				
		(b) 予算現額	10,500				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	10,500				
	B. 執行済額		9,135				
	うち交付金充当額		7,308				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		87.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光コミュニティバス導入検討調査の実施	目標	(導入検討調査)	()	()	()	
		実績	導入検討調査				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・本村を訪れた観光客及び住民に対して観光コミュニティバスに関するニーズ調査を行うとともに、本村の公共交通・交流活性化の課題把握と試作展開方針の検討ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	観光コミュニティバス導入検討調査の実施	目標	()	(導入検討調査)	()	()	()
		実績		導入検討調査			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・観光客誘客と連動したコミュニティバス導入が望まれる中で、本村においては公共交通機関がほとんどない状況である為、今後は、コミュニティバスの導入方式やルート選定、運営主体の検討を図りとともに関係機関との協議を行う。					

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑧	農道除草作業事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)	
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 1-(1)	
事業内容	・魅力的な観光地を形成するため、日本一早い「ひまわりまつりin北中城」(1月～2月開催)会場周辺の除草作業を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	105				
		(b) 予算現額	105				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	105				
	B. 執行済額		105				
	うち交付金充当額		84				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	会場周辺農道除草(除草予定面積:686㎡)	目標	(686㎡)	()	()	()	
		実績	686㎡				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・ひまわりまつり会場周辺の除草により、景観の向上を図るとともに車両交通及び来場者の安全の確保が図れた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	会場周辺農道除草率:100%	目標	()	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・まつり会場周辺の農道の除草予定面積が達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・ひまわりまつりの会場は、土地改良された農地の一部を活用していることから、車で来られた場合は、離れた公共施設等に止めて徒歩で来場する。その農道について景観美化と来場者の安全確保が図られたと考える。</p>	<p>・ひまわりまつり会場へ向かう狭小な農道において、除草作業を2回実施し、会場周辺の景観美化と、来場する観光客等のおもてなし向上と、まつり成功に寄与できたと考える。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・ひまわりまつり会場周辺における更なる景観美化と観光客等のおもてなし向上に取り組む</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
105	105	84	21	0



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託事業者は指名競争入札方式で実績等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑨	景観計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)	
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 1-(1)	
事業内容	・本村における景観特性や目指すべき「将来像」及び「景観形成に関する方針」等を示し、良好な景観形成のための行為の制限等を定めることにより、実現性の高い景観形成を推進するため、景観計画を策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		4,800				
			4,800				
			0				
			－				
			4,800	0			
	B. 執行済額		4,526				
	うち交付金充当額		3,620				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		94.3%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	景観計画の策定	目標	(景観計画策定)	()	()	()	
		実績	景観計画策定				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	・本年度において、景観計画策定委員会を3回、内部の庁内検討部会を2回開催し、協議を重ね、景観計画(原案)を策定することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	景観計画の策定	目標	()	(景観計画策定)	()	()	()
		実績		景観計画策定			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	・今後は、本年度策定した原案をもとに住民説明会を経て、具体的な景観形成基準や条例等を検討し、景観計画策定及び条例施行を目指す。						

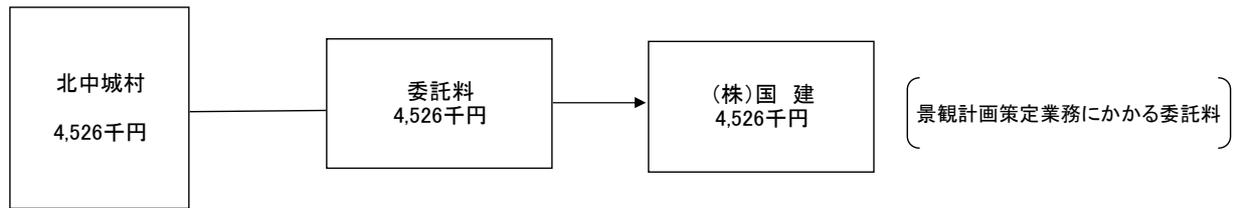
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・景観計画策定に向けた地域への周知と合意形成について、特に、景観重点地区について、一般地区と比較して厳しい規制が想定され、支援策の検討と併せて、地域の周知と十分な合意形成が重要となる。</p>	<p>・景観形成は、都市計画のみならず、産業振興・文化振興など、多岐にわたる分野が関連するので、庁内の連携した体制の確立と併せて、地域住民や事業者に対する意識啓発の取り組みが必要となる。</p>

今後の取り組み方針

・景観計画策定にあたり、庁内幹事会や有識者を含めた検討委員会等を設置し、具体的な景観形成基準を検討するとともに、地域住民や事業者に対する景観づくりの意識啓発のため、説明会に加え、ワークショップやシンポジウムを行い、本村の目指すべき景観形成について取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,526	4,526	3,620	906	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・受託事業者は指名競争入札方式により選定しており、妥当であったと考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北中城村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-10	公営墓地整備基本計画策定事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)	
担当部課名	生活環境課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 1-(1)	
事業内容	・沖縄独特の墓地散在化の規制と、景観的な配慮をするため、公営墓地の形態、規模、運営方法、候補地選定の基本計画を策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計 (b+d)		4,660				
			4,660				
			0				
			—				
			4,660	0			
	B. 執行済額		4,410				
	うち交付金充当額		3,528				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		94.6%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	公営墓地整備基本計画の策定	目標	(公営墓地整備基本計画の策定)	()	()	()	
		実績	公営墓地整備基本計画の策定				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・基本計画策定のための役場の関係課長や自治会長等からなる検討委員会を立上げ、県内外の公営墓地等の事例調査、公営墓地建設用地の調査、公営墓地整備の基本方針等について協議を重ね、今後の公営墓地実施計画を策定するための基礎資料を得ることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	公営墓地整備基本計画の策定	目標	()	(公営墓地整備基本計画の策定)	()	()	()
		実績		公営墓地整備基本計画の策定			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・公営墓地整備基本計画を策定し、当初目標を完了することができた。					

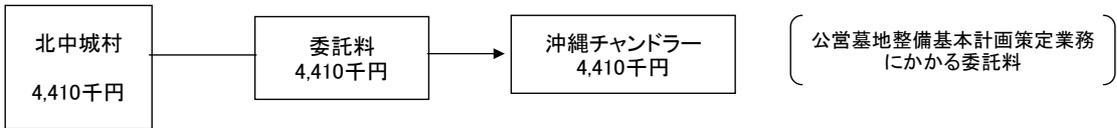
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・他県と大きく異なる墓地習俗が根強く残り、個人墓地がいたるところに設置され様々な問題が発生していることから、本村は、墓地施策の基本方針となる「北中城村墓地基本計画」を平成23年3月に制定した。その中で、①「墓地規制区域」を設定し、これ以上の墓地の散在化を防ぐ。②北中城村における「墓地設置基準」を設定する。③公営墓地の整備により、墓地の集団化を図る。等々の施策を定めている。</p> <p>施策①、②については、平成24年12月25日に墓地等の許可等に関する条例及び施行規則を制定し、平成25年4月1日付で施行されています。③については、平成24年度で「公営墓地整備基本計画」を策定し、公営墓地を整備することにより、墓地の集団化を進め、墓地の散在化防止施策の具体化を図る。</p> <p>また、平成25年4月1日から墓地等の許可等に関する権限を沖縄県知事から移譲され、これまで以上に墓地施策を強力に推進できる環境が整っている。</p>	<p>・平成23年3月制定の「北中城村墓地基本計画」制定以降、①平成24年12月25日に墓地等の許可等に関する条例及び施行規則の制定②平成25年4月1日に墓地等の許可等に関する権限移譲③公営墓地整備基本計画を策定するなど、本村は墓地基本計画に則って、墓地施策を具体化してきた。</p> <p>今後、公営墓地整備を実現することにより、墓地の散在化防止と集団化の推進を図る。</p>

今後の取り組み方針

・公営墓地整備を具体化するためには、今後以下のスケジュールに沿って事業を進める必要がある。
 平成25年度 ①建設用地の確定(用地確保)、②地域自治会、隣接地主・居住者などの合意形成、③基本設計(地質調査、測量調査など)
 平成26年度 詳細設計
 平成27年度～平成28年度 ①土木工事、②建築工事
 平成29年度 供用開始

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,410	4,410	3,528	882	



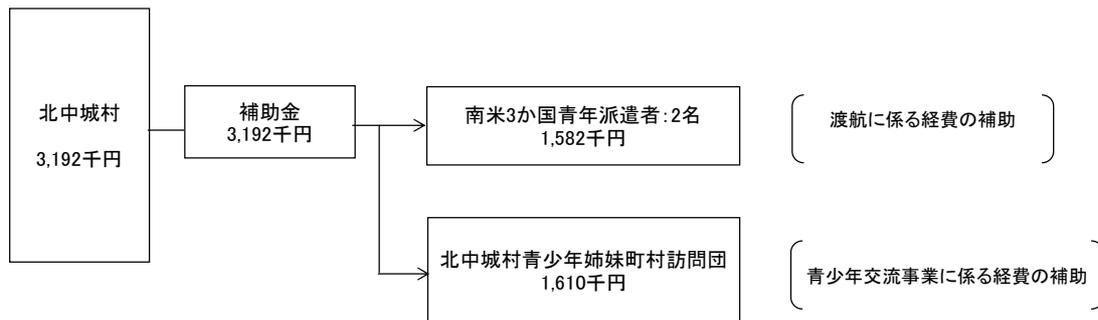
資金の流 れの点 検・費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・受託事業者は指名競争入札方式により選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑩	南米3カ国青年研修・葛巻町青少年交流事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)		
担当部署名	総務課・教育総務課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界水準の観光リゾート地の形成 1-(1)		
事業内容	<p>・友好親善と国際交流の推進を図るため、本村出身者が多くいる南米3カ国(ペルー、アルゼンチン・ブラジル)に研修生を派遣する。 また、北中城村の文化・伝統等の発信と将来を担う人材ネットワークの形成を図り、国内外の観光客の誘客強化のための人材育成を目指すため、姉妹町村である岩手県葛巻町の青少年交流事業を実施する。</p>						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,712				
		(b) 予算現額	3,712				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	3,712	0			
	B. 執行済額		3,192				
	うち交付金充当額		2,553				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		86.0%				
予算の状況の説明		補助金精算により、不用額が生じたが、当初の事業計画のとおり遂行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	南米3カ国派遣人数	目標	(2人)	()	()	()	
		実績	2人				
	葛巻町交流生徒派遣人数	目標	(15人)	()	()	()	
		実績	12人				
達成状況説明	<p>・応募により決定した派遣者2名をブラジル、ペルー、アルゼンチンに派遣し、各国村人会と交流を図る。各国での文化交流や観光地での取り組みを学習し、戦前、戦時に沖縄を離れ見知らぬ外国で経済的に厳しいにも関わらず食料や金銭の支援を行った海外子弟との「絆」を次の世代に伝えることができた。</p> <p>・岩手県葛巻町の中学生(12名)と本村の中学生(12名)が、お互いの文化・伝統を紹介し相互理解を深めた。</p> <p>・葛巻町の特産品を使った体験学習を地元の中学生と協力して行うことで友好を深められた。</p> <p>・お互いの中学校での取り組みの紹介や伝統芸能の披露などプレゼンテーション能力の育成が図られた。</p> <p>・事業実施後、派遣された中学生は、中学校で生徒会等の活動を積極的に行っており、リーダーシップの養成が図られた。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・南米3カ国派遣人数 ・葛巻町交流生徒派遣人数	目標	(南米:2人 葛巻:0人)	(南米:2人 葛巻:15人)	()	()	()
		実績		南米:2人 葛巻:12人			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	<p>・応募により決定した派遣者2名をブラジル、ペルー、アルゼンチンに派遣し、各国村人会と交流を図る。各国での文化交流や観光地での取り組みを学習し、戦前、戦時に沖縄を離れ見知らぬ外国で経済的に厳しいにも関わらず食料や金銭の支援を行った海外子弟との「絆」を次の世代に伝えることができた。</p> <p>・平成33年度には延べ150名の生徒を派遣し、将来の北中城村のリーダーを育成し、姉妹町村である岩手県葛巻町との青少年交流を継続することで、北中城村の伝統・文化を県外へ発信するとともに、相互の人材ネットワークの形成を図る。</p>					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 国際色豊かな沖縄を演出できる人材育成と観光客の誘客強化を目的とした人材育成を目指すためにも、相手の観光資源を観察することや、村の伝統文化等の発信、派遣後の活動の場の提供など、周知の方法や村内での交流の促進といった取り組みが必要となる。また、せっかくできた各国の若者や葛巻町とのネットワークが風化しないよう継続的交流の取り組みが必要となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 派遣後にこの経験を体現できる場を提供し、特に若者へ向け周知を行う。更に普及の進むインターネット等を活用し、築いてきた「絆」を継続的に、更に多くの人との交流を促すことが必要となる。 葛巻町の基幹産業施設の視察や講演会などを取り入れたプログラムの工夫を行う必要がある。 地元中学生との交流を中心とした日程の編成を行う必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 単年度ごとの派遣者が交流・連携できる環境をつくり、各国若者と沖縄の繋がりを強化する。文化や言語を学びそれらを糧として沖縄の良さ、北中城村の新たな魅力発信に寄与できる人材の育成へとつなげる。 葛巻町の特徴であるクリーンエネルギー(風力発電など)施設の視察 中学生フォーラムの開催 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,322	3,192	2,553	639	130



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 海外派遣の選定は応募者の中から書類、面接を行い選定した。補助は渡航費と宿泊など派遣するものに関し、それ以外学習に必要な内容は受益者の負担とした。 葛巻町への派遣は、将来リーダーとして期待される中学生を選考し、事前学習等を実施し事業に挑んでいることから妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

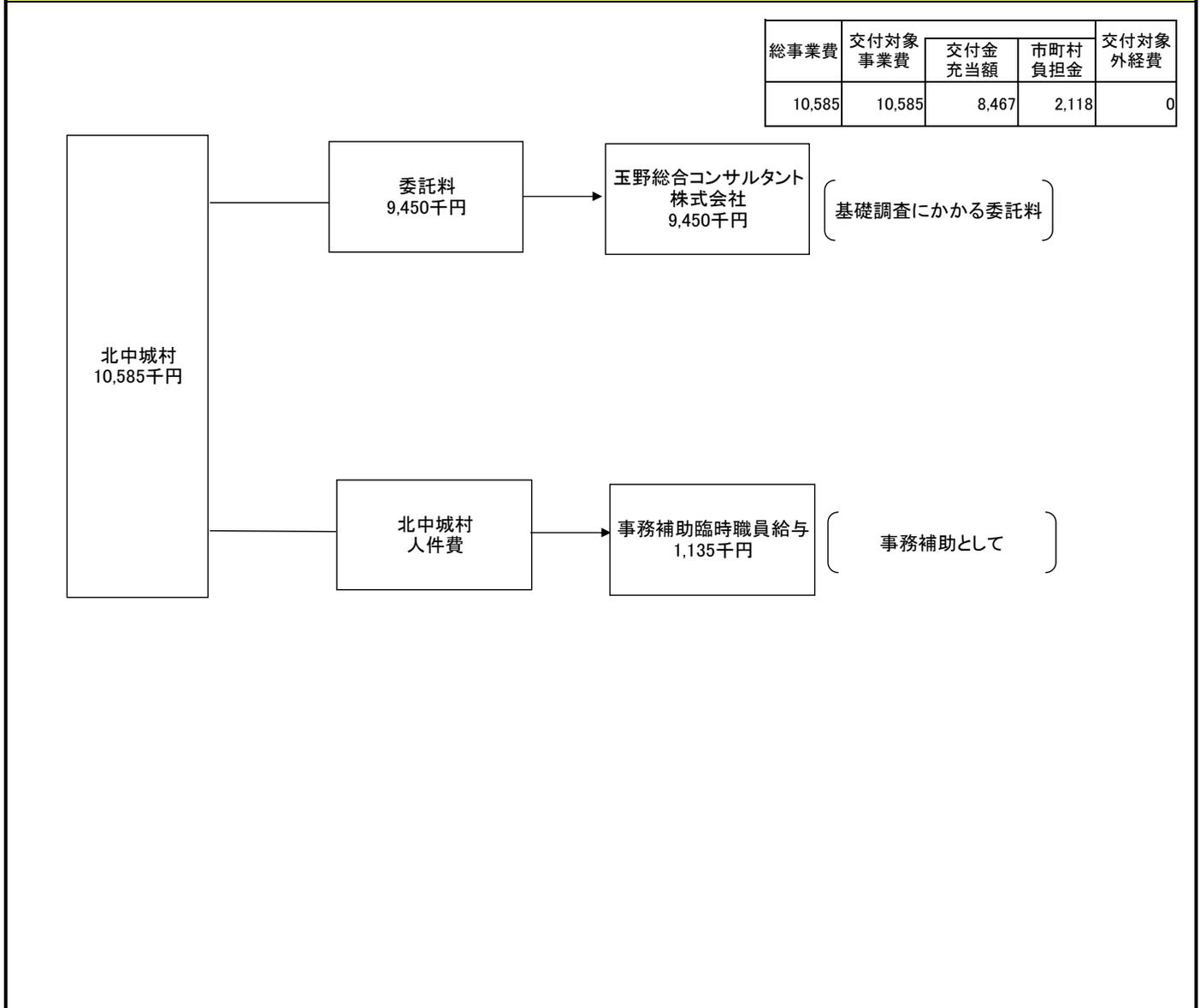
市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	アワセゴルフ場地区観光拠点づくり計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)		
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の有効利用の推進 III-8		
事業内容	・観光客誘客が期待される駐留軍用地跡地である「アワセゴルフ場地区」の観光拠点まちづくり及び安心安全なまちづくりの推進と、災害にも強く魅力ある観光まちづくりを目指し、災害時及び災害復旧時を想定した避難路、輸送路、物資供給などの調査を実施し、計画を策定する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,172				
		(b) 予算現額	11,172				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	11,172	0			
	B. 執行済額		10,585				
	うち交付金充当額		8,467				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		94.7%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	アワセゴルフ場観光拠点計画の策定	目標	(観光拠点計画の策定)	()	()	()	
		実績	観光拠点計画の策定				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・アワセゴルフ場地区観光拠点づくり事業については3年をかけて実施する予定であるが、初年度においては、基礎調査について完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	アワセゴルフ場観光拠点計画の策定	目標	()	(アワセゴルフ場観光拠点計画の策定)	()	()	()
		実績		アワセゴルフ場観光拠点計画の策定			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・アワセゴルフ場地区観光拠点づくり事業については3年をかけて実施する予定であるが、初年度においては、基礎調査について完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・当該事業については、3年をかけて実施する予定であるが、取組み初年度について災害を想定した災害時・災害復旧時において必要な避難路・輸送路等を検討し、結果を総合整備計画へ反映させ時点修正を行った。</p>	<p>・当該地区は県内外には留まらず、国外からの観光客も多く訪れることが見込まれるため、災害時の誘導について、誰でもわかるよう効果的な表示の工夫が必要である。</p>

今後の取り組み方針

・既存の防災マップの検証や避難路の周知方法の提案、案内標識(観光・災害)の多言語表示の検討、民間・公共機関との協力体制の確立等を行い、安全・安心なまちづくり形成のため災害対策の強化に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託事業者は実績等を勘案して指名競争入札を実施しており、妥当であったと考えている。</p> <p>・費目・使途については事業目的達成の観点から必要であり、妥当であったと考えている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	アワセゴルフ場地区景観形成検討調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-13		
担当部課名	建設課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の有効利用の推進 Ⅲ-8		
事業内容	・アワセゴルフ場地区における魅力的で快適な観光拠点としてのまちづくりにたち、総合的な観点から無電柱化にむけた整備計画を策定する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,250				
		(b) 予算現額	5,250				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	5,250	0			
	B. 執行済額		4,568				
	うち交付金充当額		3,654				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		87.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	景観整備計画の策定	目標	（ 景観整備計画の策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	景観計画の策定				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	・安全で快適な通行空間の確保、景観性の向上、電力・通信ライフラインの信頼性の確保を目的とした無電柱化推進計画を策定することができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	景観整備計画の策定	目標	（ ）	（ 景観計画の策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		景観計画の策定			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明	・安全で快適な通行空間の確保、景観性の向上、電力・通信ライフラインの信頼性の確保を目的とした無電柱化推進計画を策定することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・当該地区のインフラ整備と併せて、無電柱化を進めるに当たり、道路管理者及び電力会社、通信会社等の関係機関協議を図りながら、効率的な整備に向け、無電柱化の手法を早期に決定していく必要がある。</p>	<p>・具体的な無電柱化に向けて、道路管理者、電線管理者、地元関係者等から構成される連絡会議を設置し、無電柱化促進の取り組みが必要となる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・無電柱化に向けた整備手法と費用負担等についての関係機関協議を行いながら、「安全性・防災性」、「道路交通特性」、「景観性」、「事業性」の観点から、より良いまちづくりに取り組む。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	4,568	4,568	3,654	914	0
<pre> graph LR A[北中城村 4,568千円] --> B[委託料 4,568千円] B --> C[朝日建設コンサルタント株式会社 4,568千円] C --- D[景観検討調査にかかる委託料] </pre>					

資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託事業者は実績等を勘案して指名競争入札を実施しており、妥当であったと考えている。</p> <p>・費目・使途については事業目的達成の観点から必要であり、妥当であったと考えている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	アワセゴルフ場地区歴史・まちづくり映像保存事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)		
担当部課名	建設課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の有効利用の推進 Ⅲ-8		
事業内容	・戦後強制収容で消滅した比嘉集落の戦前の営みから返還合意・跡地の利用までを記録として残し、歴史文化の継承を図るため、映像としてまとめる。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,000				
		(b) 予算現額	1,000				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,000	0			
	B. 執行済額		940				
	うち交付金充当額		751				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		94.0%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	記録映像の作成	目標	（記録映像の作成）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	記録映像の作成				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	・比嘉集落の戦前の営みから返還合意・引渡しまでを記録として残し歴史文化の継承を図るため、映像としてまとめることができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	記録映像の作成	目標	（ ）	（記録映像の作成）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		記録映像の作成			
	記録映像の撮影時間	目標	（ ）	（3時間）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		3時間			
	進捗状況説明	・平成25年度以降は、今後の当該地区のまちづくりの移り変わりの様子を映像記録として取りまとめ、跡地利用計画に反映させることが必要である。					

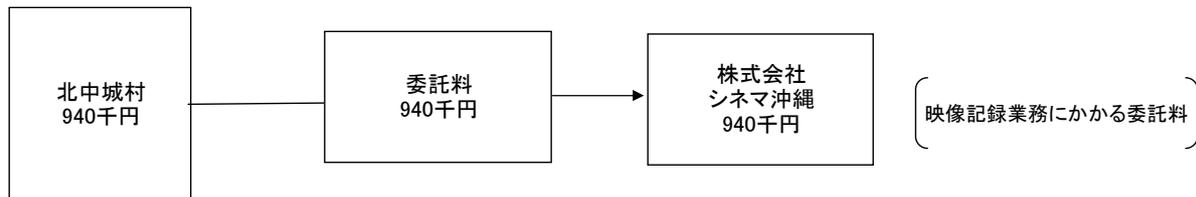
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・当該地区のこれまでの歴史と、これからのまつづくりに係る映像記録を、今後どのように活用するかが課題となっている。</p>	<p>・記録した映像を今後のコミュニティ形成に役立てるとともに、当該地区の開発にあたり、企業誘致など基地跡地利用の都市開発モデルとしてアピールできる取り組みを検討する必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・引き続き当該地区の「まちびらき」までの様子を映像として記録し、ホームページでの配信やDVD等で配布を図り、当該地区の歴史や進捗状況を地域住民を含め県内外に幅広く伝える映像広報ツールとして活用していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
940	940	751	189	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託事業者は実績等を勘案して契約を実施しており、妥当であったと考えている。</p> <p>・費目・使途については事業目的達成の観点から必要であり、妥当であったと考えている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	アワセゴルフ場地区利用推進プロジェクト管理事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)		
担当部課名	建設課	事業実施（予定）年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の有効利用の推進 Ⅲ-8		
事業内容	・プロジェクト管理能力のあるプロジェクトマネージャーの助言を得て跡地利用の迅速な推進を図るため、アワセゴルフ場跡地開発の全体計画の作成、工期の短縮検討、進捗管理、将来予測、ステークホルダー（プロジェクトに関係しているあらゆる人々）との調整及び管理を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,700				
		(b) 予算現額	2,700				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,700	0			
	B. 執行済額		2,688				
	うち交付金充当額		2,150				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		99.6%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	アワセゴルフ場地区利用推進プロジェクト調整・管理の実施	目標	（プロジェクト調整管理実施）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	プロジェクト調整管理実施				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	・跡地利用の迅速な推進を図るため、アワセゴルフ場跡地開発の全体計画の作成、工期の短縮検討、進捗管理、将来予測、関係機関との調整及び管理ができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	アワセゴルフ場地区利用推進プロジェクト調整・管理の実施	目標	（ ）	（アワセゴルフ場地区利用推進プロジェクト調整管理実施）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		アワセゴルフ場地区利用推進プロジェクト調整管理実施			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明	・平成25年度からインフラ整備や立地する民間企業の建築工事等が本格的に開始されることから、各工程摺合せや進捗管理を行う。					

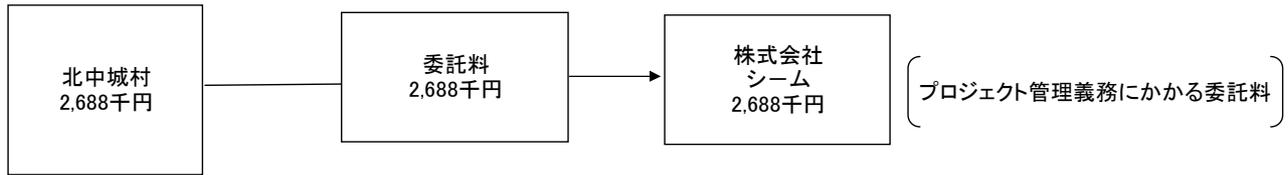
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・今後の跡地利用のモデルケースとなるよう迅速な推進を図ることが重要であるため、全体工程表を共有し、定期的な進捗管理を行うことで、効率的かつ効果的な跡地利用の推進に結びつくものとする。</p>	<p>・迅速な推進を図るためにも変更点・問題点をプロジェクトに関係しているあらゆる人々と共有し課題解決に向けて連携していく必要があるため、今後もプロジェクトマネージャーの助言を得て更なる推進に取り組む必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・多数の工事が一斉に動き出すため、進捗状況の把握・工程シミュレーションによる課題抽出や対策検討がより一層重要となってくることから、工事を一元管理し、より一層事業がムーズに推進するよう取り組む必要がある。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

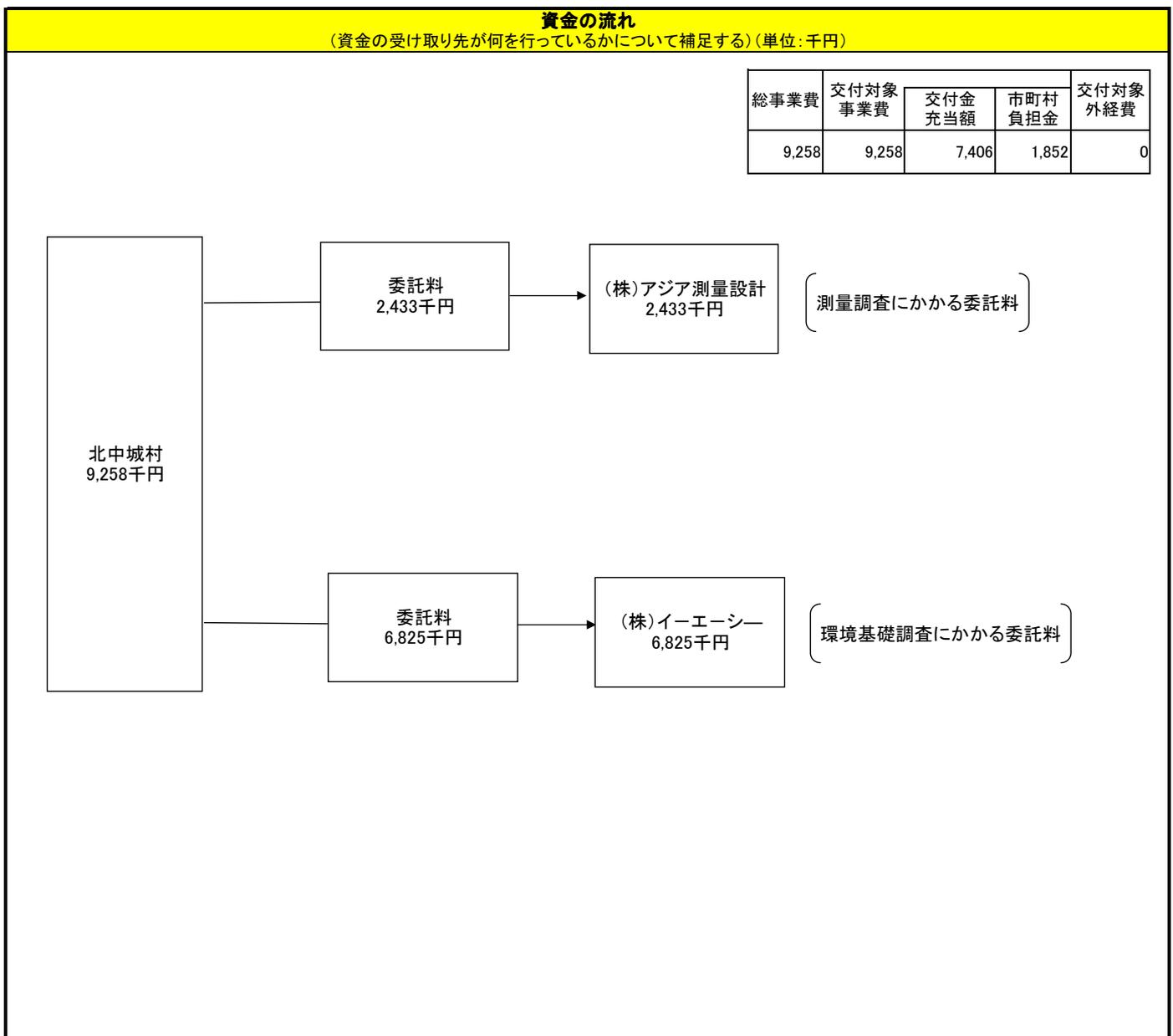
総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
2,688	2,688	2,150	538	0



資金の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託事業者は実績等を勘案して契約を実施しており、妥当であったと考えている。</p> <p>・費目・使途については事業目的達成の観点から必要であり、妥当であったと考えている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤	サウスプラザ地区跡地利用検討基礎調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)	
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の有効利用の推進 III-8	
事業内容	・昭和49年に返還されたサウスプラザ地区(約3.0ha)は、アワセゴルフ場跡地に国道を挟んで隣接していることから、一体的に整備することが有効であり、未調査である環境調査・測量調査を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計(b+d)		9,570				
			9,570				
			0				
			-				
			9,570	0			
	B. 執行済額		9,258				
	うち交付金充当額		7,406				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		96.7%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	サウスプラザ地区の環境調査・測量調査(調査予定面積:3ha)	目標	(3ha)	()	()	()	
		実績	3ha				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	・昭和49年に返還されたサウスプラザ地区(約3.0ha)について、これまで未調査であった環境調査・測量調査を行うことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	サウスプラザ地区の調査実施率	目標	()	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	・本年度実施した調査をもとに、国道を挟んで隣接するアワセゴルフ場地区と一体となった整備を進める。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・アワセゴルフ場地区と一体となった整備を推進するに当たり、面的整備後に発生する雨水が、下流河川に与える影響が懸念されることから、雨水流出を軽減するための対策が必要である。	・当該地区整備で想定される周辺環境(雨水流出)への負担を最大限に抑えるため、調整池の設置を図る必要がある。
	今後の取り組み方針	
<p>・昭和49年に返還され、これまで手つかずだった当該地区において、アワセゴルフ場地区と一体となった整備を推進していくとともに、周辺環境への配慮を図りながら魅力ある跡地利用に取り組む。</p>		



資金の流 れの点 検・費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託事業者は実績等を勘案して指名競争入札を実施しており、妥当であったと考えている。</p> <p>・費目・使途については事業目的達成の観点から必要であり、妥当であったと考えている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥	アワセゴルフ場地区総合整備計画修正事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)		
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	駐留軍用地跡地の有効利用の推進 Ⅲ-8		
事業内容	・平成22年度に作成した「アワセゴルフ場総合整備計画」は、大型商業施設と大型医療施設を核とした総合整備計画に基づくまちづくりに必要な要素を満たしているものの、「地域の歴史、文化」、「健康増進」、「スポーツ交流」などの分野が満たされておらず、それらを満たす必要な施設の配置等を検討するため見直しを行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,137				
		(b) 予算現額	4,190				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 947				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	4,190	0			
	B. 執行済額		3,885				
	うち交付金充当額		3,108				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		92.7%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	アワゴルフ場総合整備計画の見直し(歴史文化、健康増進、スポーツ等の分野を追加)	目標	(総合整備計画見直し)	()	()	()	
		実績	総合整備計画見直し				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・平成22年度に策定した「アワセゴルフ場総合整備計画」について、災害に強いまちづくりの観点から、当該地区に必要な防災拠点の形成について、地権者の意向を踏まえ、当初計画を修正することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	アワゴルフ場総合整備計画の見直し(歴史文化、健康増進、スポーツ等の分野を追加)	目標	()	(総合整備計画見直し)	()	()	()
		実績		総合整備計画見直し			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・本年度に修正した計画を踏まえ、災害に強いまちづくりを目指すため、防災拠点となる多目的アリーナ整備に向けた具体的な取り組みを行う。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・当該地区の総合整備計画修正について、行政・地権者・関係する民間企業が知恵を出し合い、課題解決に向け取り組むことにより、当計画における必要分野を網羅した形で修正を行った。</p>	<p>・近い将来において、当該地区が発展し、活気ある「まち」になることが予想されるため、そこで発生する諸問題の解決検討について、引き続き、行政・地権者・関係する民間企業が連携を密にしていける必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・返還から土地利用開始(まちづくり)まで、相当の時間を要した沖縄の跡地利用について、本地区が最短モデルケースとなることを目指し、見直した総合整備計画をもとに、防災拠点となる多目的アリーナ建設に向け、官民協働で魅力あるまちづくりに取り組む。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	3,885	3,885	3,108	777	0
<pre> graph LR A[北中城村 3,885千円] --> B[委託料 3,885千円] B --> C[玉野総合コンサルタント 株式会社 3,885千円] C --- D["(総合整備計画修正義務に かかる委託料)"] </pre>					

資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託事業者は実績等を勘案して指名競争入札を実施しており、妥当であったと考えている。</p> <p>・費目・使途については事業目的達成の観点から必要であり、妥当であったと考えている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-①	雇用サポートセンター事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				雇用対策と多様な人材の確保
				Ⅲ-2

事業内容
 ・活力ある地域作りを目指し、高い水準で推移している失業率の改善を図るとともに、退職期を迎えた「団塊の世代」の再就職希望に対応するため、雇用サポートセンターを設置する。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	5,207				
	(b) 予算現額	5,207				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	5,207	0			
	B. 執行済額	4,139				
	うち交付金充当額	3,310				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	79.5%				
予算の状況の説明	・計画において計上していた保守委託料(995)及び車両借り上げ料(210)を交付対象外としたことにより、執行率が低くなった。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		雇用サポートセンターの設置	目標 (設置)	()	()
	実績	設置			
	職業サポートの実施	目標 (実施)	()	()	()
	実績	実施			
達成状況説明	・インターネットを活用した雇用支援システムの導入と無料職業紹介所(雇用サポートセンター)の設置及び雇用支援員1名を配置し、職業紹介事業を実施することができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		失業者のマッチング人数	目標 (0人)	(10人)	()	()
		実績		7人		
	新規求人数	目標 (0人)	(100件)	()	()	()
		実績		105件		
進捗状況説明	・システムを活用した求人・求職の登録を行い、求人企業と求職者側との面談など、細かな調整を行うことにより双方のニーズに応じた職業紹介を実施。開始から5カ月間で25事業所、39人の求職者登録、105人の求人募集に対し、紹介者9人中、7人の求職者を雇用に繋げた。目標とする10人には届かなかったものの約78%の斡旋実績となった。					

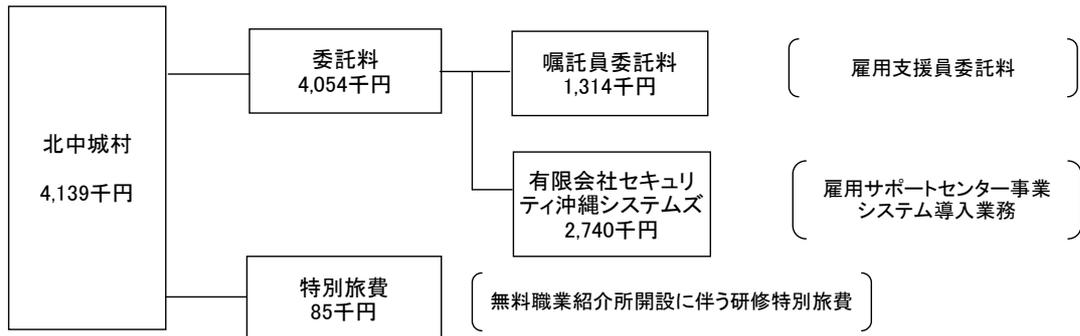
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・村内での雇用サポートセンターの認知度が徐々に上がっており、来所者も増えてきている。 ・登録事業所、求人数も増えてきているが、職種、年齢、性別などで就業に結びつかない例が見受けられ、さらなる登録事業所の開拓が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録事業所のさらなる開拓が必要であり、近隣市町村からの登録募集もさらに力を入れる必要がある。 ・本サポートセンターはハローワークへ求人を出さない小さな事業所への求人や繁忙期の農作業などの短期の求人募集など、ハローワークが取り扱わない業務への斡旋も可能であるため、その認知度を上げる取り組みを強化する必要がある。 また、求職登録者の就業に対する意識の低さやマナー意識の低さも見受けられ、細かな指導も必要である。

今後の取り組み方針

・求人については、登録企業の増、職種の増加を狙うため、企業訪問や関係機関への周知の取り組みを強化し、求職については、求職者側の職業に対する要望の多さや選び過ぎ、消極性など、求職者本人についての問題も浮かんできており、就業意識の向上への取り組みも必要も感じられている。履歴書の書き方や面接マナーなど求職者側への細かな指導もあわせて行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
4,139	4,139	3,310	829	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・専門知識を有した嘱託員1名を採用し、就業サポート業務をスムーズに実施できたと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即真に必要なものに限定されているか。	

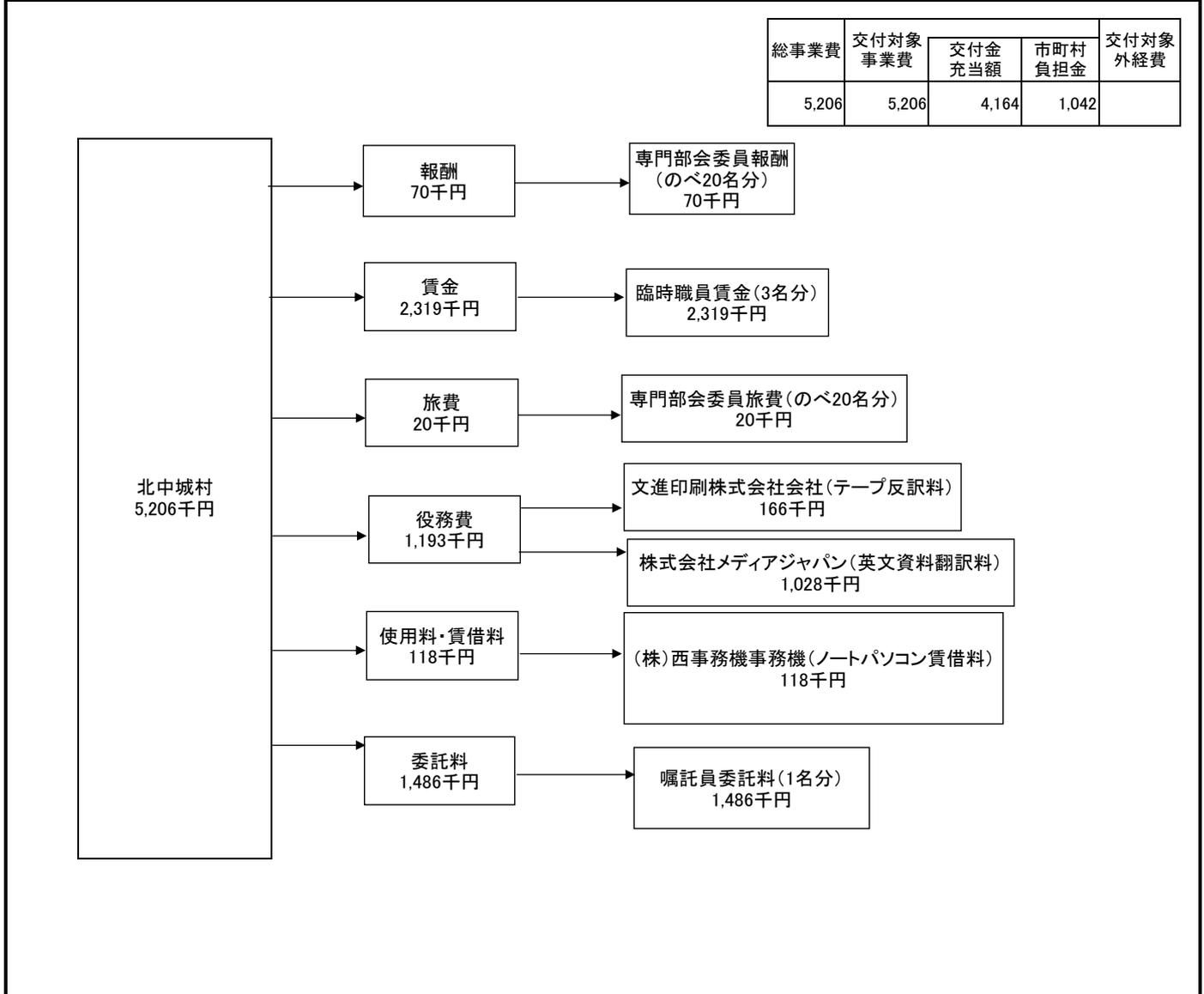
市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	沖縄戦戦後復興調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)		
担当部課名	生涯学習課	事業実施（予定）年度	平成24年度～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい個性を持った人づくりの推進 12		
事業内容	・戦後67年を迎え、戦争当時の状況を知る聞き取り対象者が高齢化する中で、沖縄戦戦後の復興体験を後世に伝えるため、米兵が綴った日誌など、未調査の英文資料（比嘉太郎・マーフィン資料）の翻訳を行うとともに、関連する聞き取り調査を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,838				
		(b) 予算現額	6,838				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	6,838	0			
	B. 執行済額		5,206				
	うち交付金充当額		4,164				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		76.1%				
予算の状況の説明		・賃金・筆耕翻訳料・使用料及び賃借料について執行残・不用額が生じたため、上記執行率となっている。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	資料翻訳の実施 聞き取り調査テープの文字起こし	目標	(翻訳:25件 文字起こし:30件)	()	()	()	
		実績	翻訳:7件 文字起こし:5件				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・業者へ発注する資料の選別に時間がかかり、結果的に目標値を達成することができなかった。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	資料翻訳の実施 聞き取り調査テープの文字起こし	目標	()	(翻訳:25件 文字起こし:30件)	()	()	()
		実績		翻訳:7件 文字起こし:5件			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・業者へ発注する資料の選別に時間がかかり、結果的に目標値を達成することができなかった。 ・戦後県内紙縮刷版からの記事抜き出し作業は、約5ヶ年分を完了した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・英文資料とカセットテープ資料について、資料の重要度に差がある。 ・聞き取り調査において、対象者をリストアップしたが、約30名と多人数にわたること調査そのものに時間がかかることが懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英文資料、カセットテープ資料の重要度を事務局でできる範囲で精査する必要がある。 ・聞き取り項目を絞るなどして、効率化を図る必要がある。

今後の取り組み方針

- ・翻訳対象資料を精選し、優先度の高いものから翻訳業者へ発注する。
- ・集落内の調査方法や地元住民からの聞き取り方法を、専門部会で再検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 用途の点 検・費目 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・業務発注に際しては、見積もり合わせにおいて最低価格を提示した業者と契約を締結しており、妥当であったと考えている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模については、業務工程を適切に見積もることができていなかったと考えており、一部改善を要する。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において、支出等に関する書類の確認の結果、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	戦没者管理システム導入事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(1)	
担当部課名	福祉課	事業実施（予定）年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい個性を持った人づくりの推進 12	
事業内容	・自治体等で行なわれる戦没者追悼などの平和活動へ活用と援護事務を円滑に行うため、沖縄戦における北中城村の戦没者についてデータベース化を行なう。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,000				
		(b) 予算現額	4,000				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	4,000	0			
	B. 執行済額		3,465				
	うち交付金充当額		2,772				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		86.6%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	戦没者情報のシステム化の実施	目標	(800件)	()	()	()	
		実績	806件				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・戦没者援護台帳システムを導入し、当初予定していた800件を超える806件の情報をデータベース化し、目標値を達成することができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	戦没者情報のシステム化率：100%	目標	()	(100%)	()	()	()
		実績		100.75%			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・戦没者情報のシステム化率においても、100.75%と当初掲げた目標値を達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・戦没者援護台帳システムのデータ情報は、現況および受給情報が追記された場合、システムにおいても直近のデータとなるよう、随時データ更新が必要となる。</p>	<p>・戦没者援護台帳システムのデータ管理の徹底並びにセキュリティおよびデータバックアップ等の管理が求められる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・平成27年度実施予定の第10回戦没者の遺族等に対する特別弔慰金請求業務が円滑に行なえるよう、データ更新および安全管理の徹底を図り、必要かつ適切な運営を行なっていく。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	3,465	3,465	2,772	693	0
<pre> graph LR A[北中城村 3,465千円] --> B[委託料 3,465千円] B --> C[株式会社創和ビジネス・マシンズ 3,465千円] subgraph Note D["(戦没者援護台帳システム構築にかかる委託業務および戦没者情報のシステム化の実施)"] end C --- Note </pre>					

資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託事業者選定においては、援護業務を遂行するための必須機能を提示し、委託事業者については導入実績等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	農業経営改善支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)		
担当部課名	産業振興課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成 1-(6)		
事業内容	・生産性の向上と後継者不足及び耕作放棄地の解消を目指し、農業者の技術支援及び助言と、就農を希望する若者の人材育成のため、農業経営改善支援員を派遣する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,252				
		(b) 予算現額	2,208				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,044				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	2,208	0			
	B. 執行済額		1,227				
	うち交付金充当額		981				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		55.6%				
予算の状況の説明		・低執行率の要因は、当初予定していた経営改善支援員配置2名の内、1人を選定することができなかつたため。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	農家の経営指導の実施	目標	(40件)	()	()	()	
		実績	40件				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		・農家への技術支援及び助言による経営指導を実施した。					
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	農家の経営指導の実施	目標	()	(40件)	()	()	()
		実績		40件			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明		・新規就農者や病害虫発生農場の指導などを重点に経営指導を行った。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・生産性の向上と後継者不足及び耕作放棄地の解消を目指し、引き続き経営支援員の派遣が必要である。また、就農後継者不足による離農を抑制するため農業を担う意欲ある担い手を確保・育成することが課題。</p>	<p>・引き続き経営支援員の派遣を行っていき、新たな農業の担い手を育成することや生産性の向上を図る。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・耕作放棄地を担い手に集約し、安定生産するための生産施設導入を推進する。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	1,227	1,227	981	246	
<pre> graph LR A[北中城村 1,227千円] --> B[委託料 1,227千円] B --> C[嘱託員委託料(1名分) 1,227千円] </pre>					

資金の流 れの流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・農業経営改善支援員は面接により選考を行い、農業経営知識や指導力などを判断し採用したため妥当であると考え</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	地域防災・危険箇所調査等事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-ア	
担当部署名	総務課	事業実施（予定）年度	平成24～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	安全・安心に暮らせる地域づくり 10-(2)	
事業内容	・災害の予防、災害発生予想箇所の調査、災害時応急対策、災害復旧対策に係る一連の防災活動を適切にかつ迅速に実施するため、新たな防災・減災計画を策定するとともに、防災体制ネットワークの強化を図るため、大規模災害時等の長期避難生活に備え、食料品、その他避難生活に必要な最低限の日用雑貨等を備蓄する環境整備を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,100				
		(b) 予算現額	8,100				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	8,100	0			
	B. 執行済額		7,757				
	うち交付金充当額		6,205				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		95.8%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	防災、減災計画の策定	目標	（ 防災、減災計画の策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	防災、減災計画の策定				
	備蓄品11品目の追加補充	目標	（ 備蓄品11品目追加補充 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	備蓄品11品目追加補充				
達成状況説明	・地域防災計画の見直し、各種初動マニュアルの作成、地域防災マップを製作することができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	防災、減災計画の策定	目標	（ ）	（ 防災、減災計画の策定 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		防災、減災計画の策定			
	備蓄品11品目の追加補充	目標	（ ）	（ 備蓄品11品目追加補充 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		備蓄品11品目追加補充			
	進捗状況説明	・地域防災計画の見直しをするとともに、避難生活に必要な日用雑貨等の備蓄品を整備することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難経路や避難場所の確認を行ったが、災害時要援護者等が迅速かつ安全に避難できるためには、十分な環境整備が必要であることが検討される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難経路やについては、災害時要援護者等が迅速に避難できる様に全体的な障害物把握と、環境整備が必要である。 ・避難場所についても、施設として支障のある場合には、状況把握と環境整備が必要である。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・避難時に支障のある避難経路、非難場所については、年次的に改修と新設整備を行い、安全な避難ルートの実現に取り組む。 ・防災訓練、学習会等を実施し住民の防災意識の高揚を図りながら、地域の自主防災組織立上げの支援に取り組む。 		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	7,757	7,757	6,205	1,552	
<pre> graph LR A[北中城村 7,757千円] --> B[委託料 4,757千円] A --> C[補助金 3,000千円] B --> D[上城技術情報株式会社 4,757千円] C --> E[北中城村社会福祉協議会 3,000千円] </pre> <p>(計画策定等にかかる委託業務)</p> <p>(備蓄品購入にかかる補助)</p>					

資金の流 れの点 検・費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・指名競争入札による事業者選定で妥当である。 ・費目・用途については事業目的達成の観点から適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○			

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-②	災害時要援護者避難支援計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)		
担当部課名	福祉課	事業実施(予定)年度	平成24～26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	社会リスクセーフティネットの確立		
事業内容	<p>・地域連携防災システム構築として、本村ホームページにおける統合型GISシステムによる視覚的観光情報発信の手段構築を視野に入れ、災害時要援護者(高齢者、障害者、観光来訪者等)に対する避難支援計画を策定するとともに、海拔表示板の設置を行う。</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,985				
		(b) 予算現額	3,985				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	3,985	0			
	B. 執行済額		3,320				
	うち交付金充当額		2,655				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		83.3%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	要援護者避難支援計画の策定	目標	(計画策定)	()	()	()	
		実績	計画策定				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	<p>・村の災害時要援護者にかかる現状と課題の分析を行い、住民ワークショップや策定委員会の意見を計画書に反映させ計画を策定できた。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	災害時要援護者避難支援計画の策定	目標	()	(計画策定)	()	()	()
		実績		計画策定			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	<p>・計画策定について、上記の活動目標に同じ。</p>					

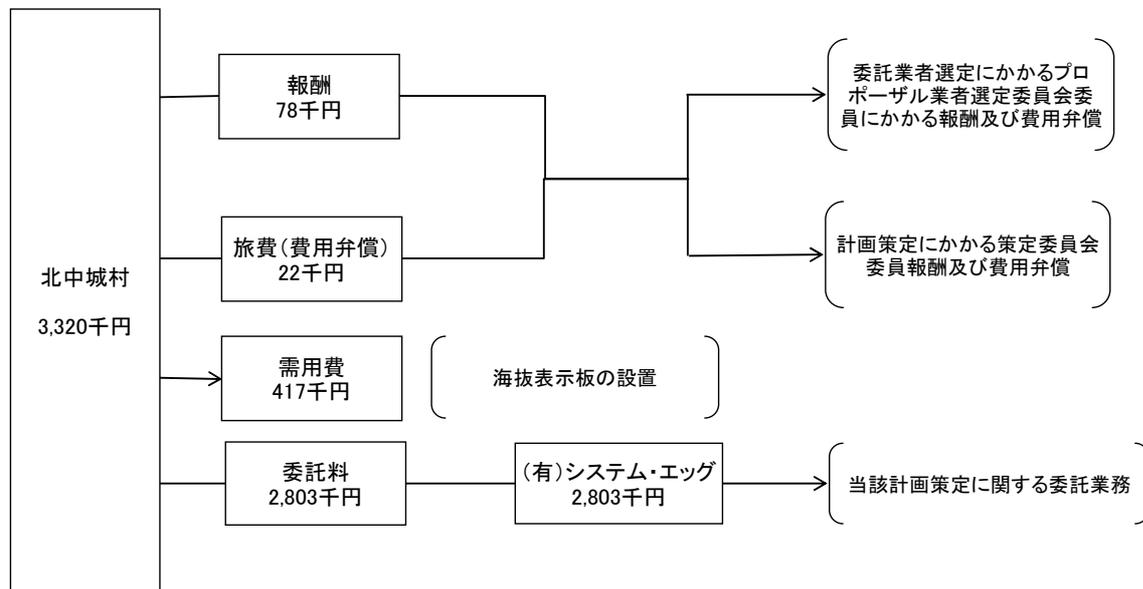
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・現状と課題をまとめるにあたり、多様化する対象者のニーズに対応するため、その把握方法に検討を要した。その結果、関係団体へのヒアリングや住民懇談会等を実施した。	・現状や課題、ニーズ把握の方法について、村内在住者については、現状の方法で問題がないと考えられるが、村外への来訪者(観光客等)の実態やニーズ把握については改善の必要があると思われる。(具体的には、村内観光施設や宿泊施設等へのヒアリングの拡充等)

今後の取り組み方針

・当該計画策定に基づき、平成25年度より「災害時要援護者避難支援事業」を実施する予定。事業実施にあたり、村内事業者等との連携を密にし、特に村外からの来訪者への対応方法など各事業者の来訪者特性に応じた対応を検討し実施していく。また、H25年度に要援護者避難支援システムを導入し、本村ホームページにおける情報提供体制を構築していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,320	3,320	2,655	665	



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は指名型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-③	航空機騒音自動測定機器導入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)		
担当部課名	企画開発課	事業実施(予定)年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	社会リスクセーフティネットの確立 10-(2)		
事業内容	・普天間飛行場から離発着する航空機等の騒音測定を目的に機器(3機)を購入し、航空機の飛行ルート下にある荻道・大城・熱田地区の公民館に機器を設置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	23,773					
	(b) 予算現額	16,923					
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 6,850					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	16,923	0				
	B. 執行済額	16,236					
	うち交付金充当額	12,988					
	次年度繰越額	0					
	執行率 (%) (B/A)	95.9%					
予算の状況	予算の状況の説明 計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	騒音測定機器の購入数3機	目標	(3機購入)	()	()	()	
		実績	3機購入				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・航空機等の離発着による騒音測定を3箇所で行い、日々の航空機等による騒音の実態を把握することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	騒音測定機器の導入数3機	目標	()	(3機導入)	()	()	()
		実績		3機導入			
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	・航空機等の騒音を数値として把握することが可能になり、住民から苦情や要望等を受ける際の指標として明確となった。沖縄県のシステムと連動していることから設置した3箇所以外の情報も確認でき、より広範囲で分析可能である。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・米軍機等の追加配備の報道もあり、住民からの関心も高まると予想されることから安定した状況把握・分析が必要とされる。 ・固定局として、通年測定を行うが、飛行ルートが多様化していることから、他地域における騒音実態把握も検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・測定の期間を3年～5年を目途にし、他地域の騒音実態把握のため、航空機飛行ルートの検証と、今後の測定場所の検討を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>・今回設置した3カ所において、3年から5年を目途に継続して測定を実施するとともに、関係機関と連携して、航空機騒音による生活環境への影響を把握し、その改善策等の検討に取り組む。</p>		

資金の流れ					
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	16,236	16,236	12,988	3,248	
<pre> graph LR A[北中城村 16,236千円] --> B[備品購入費 16,236千円] B --> C[日東紡音響エンジニアリング株式会社 16,236千円] subgraph D [] C --- D_text[航空機騒音自動測定機器3機の購入] end </pre>					

資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・業者選定にあたり、指名競争入札により行い適正なものであった。 ・費目・用途が事業目的に即し適正である。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-④	北中城小学校避難施設改修事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部課名	教育総務課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	社会リスクセーフティネットの確立 Ⅲ-10-(2)		
事業内容	・災害時の避難施設として指定されている北中城小学校が、台風・塩害等により屋根葺き材（防水シート）の劣化が著しく、台風襲来のたびに近隣に危険を及ぼしている。避難施設として安全・安心にその機能の活用を図るため、小学校避難施設の改修を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	35,556				
		(b) 予算現額	35,556				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	35,556				
	B. 執行済額		31,844				
	うち交付金充当額		25,474				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		89.6%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	北中城小学校整備棟数	目標	(3棟)	()	()	()	
		実績	3棟				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・劣化した防水シートの改修を行うことで、台風などの災害時に剥離し吹き飛ばすなど、近隣住民に危険を及ぼすことがなくなり、安心・安全な避難施設としての機能を回復することができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	北中城小学校整備棟数	目標	(0棟)	(3棟)	()	()	()
		実績		3棟			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・台風時に劣化した防水シートが剥離し、近隣住民に危険を及ぼしていたが、屋上部分の改修を行うことで危険が解消され、避難施設としての機能を回復することができた。 ・3棟すべて改修できたので、当面の避難施設としての機能を達成できた。					

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	全村植物公苑化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(3)		
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24年度～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	低炭素島しょ社会の実現		
事業内容	・本村まちづくりの基本目標の1つである「全村植物公苑づくり」のもと、村全体を植物公苑とみため、観光拠点周辺の地域緑化を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,054				
		(b) 予算現額	6,054				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	6,054	0			
	B. 執行済額		5,491				
	うち交付金充当額		4,392				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		90.7%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	村内主要道路等の美化・緑化の実施	目標	(1,600㎡)	()	()	()	
		実績	1,637㎡				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・道路管理者の承諾を得た場所から美化・緑化を実施。プーゲンビリア、ハイビスカス、サンダンカの苗木を植栽し、景観美化を図ることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	村内主要道路等の美化・緑化率	目標	()	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・観光施設周辺やそこへ向かう村道等において、沖縄らしい花木・苗の植栽を実施し、訪れる人々の目を楽ませる景観美化を図ることができた。					

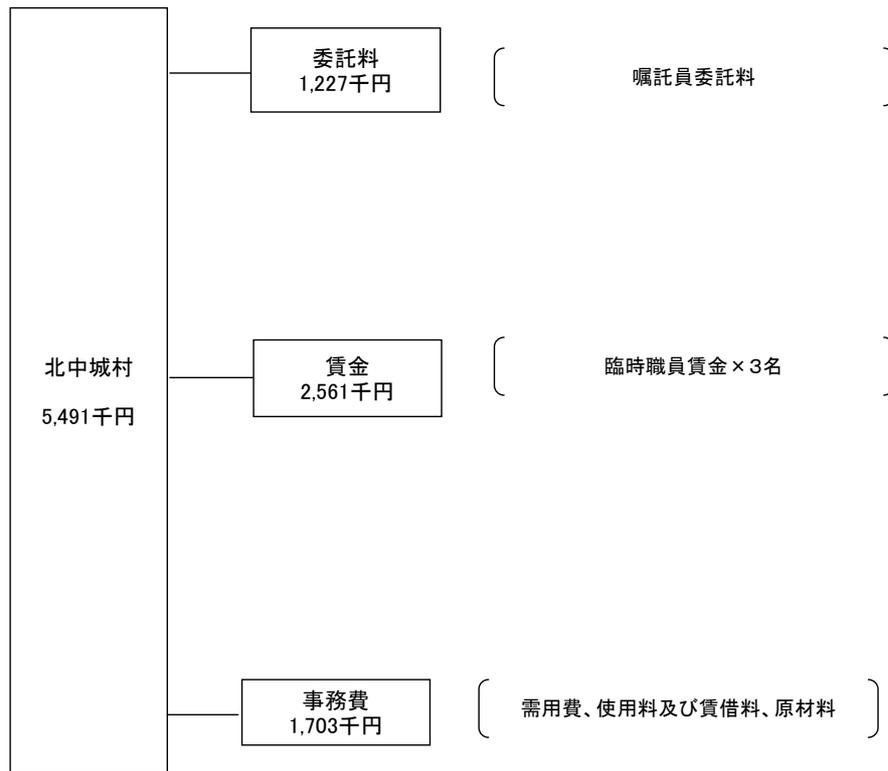
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・継続的に事業を実施するため、道路管理者や地域住民と更なる連携が必要であり、また維持管理しやすい花木・苗の調査等も必要である。</p>	<p>・施設管理者への定期的な情報交換を実施する必要がある。また、施設管理者から承諾を得て、事業を実施した後の維持管理について、地域住民との連携を実施する必要がある。また、植栽する際は、維持管理や景観に適した花木、苗を植栽するにより維持管理の負担を軽減する必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・道路管理者に2カ月に1度、事業報告を行い、情報収集を図る。又、村内団体へ緑化ボランティアの呼びかけを実施し、本事業で美化、緑化した個所を定期的に管理するような連携体制を構築する。又、先進地域の視察を実施したり、研修等に参加することで維持管理しやすい花木、苗を植栽する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
5,491	5,491	4,392	1,099	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・専門知識を有した人材を選定し、支出は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村
------	------

平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-①	総合英会話指導支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア
担当部課名	教育総務課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築
			沖縄振興基本方針該当箇所	3-(1)

事業内容
 ・国際化社会に対応できる人材の育成に向けて、外国人や英会話能力の優れた講師3人を配置し、生きた英語による英会話指導を幼稚園・小中学校で行う。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	4,212				
	(b) 予算現額	4,212				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	—				
	A. 計 (b+d)	4,212				
	B. 執行済額	4,110				
	うち交付金充当額	3,288				
	次年度繰越額	0				
	執行率 (%) (B/A)	97.6%				
	予算の状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。				

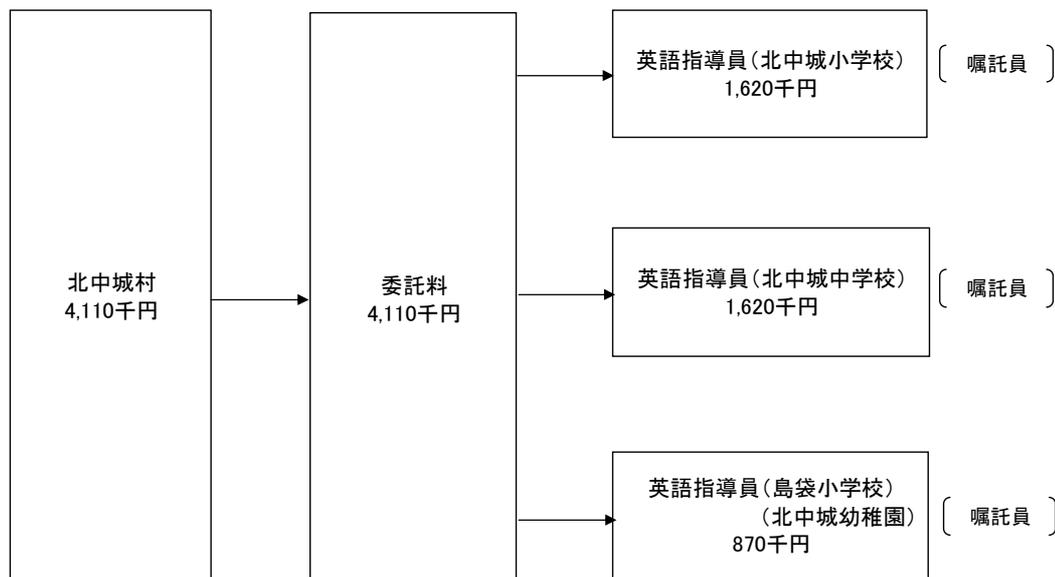
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
		英語指導員配置数	目標 (3人)	()	()
	実績	3人			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	・村立小中学校(3校)及び幼稚園(1園)に3名の英語指導員を配置し、英会話を中心に、生きた英語に触れる機会を多く作ることができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
		英語指導員配置数	目標 ()	(3人)	()	()
		実績		3人		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	・3人の英語指導員を継続的に配置し、持続的な事業の実施を行うことにより、幼い年齢から生きた英語に触れる機会を多くし、国際性豊かな人材育成のきっかけとする。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・小規模校の英会話指導については週3日だが、国際性豊かな人材育成を強化する観点から、他校同様、週5日の英会話指導を実践し生きた英語に触れる機会を増やすことが課題である。	・小・中学校と連携し、英会話指導内容の拡充について、指導プログラムのチェックと再構築を行う。
	今後の取り組み方針	
・小規模校での英会話指導の強化を図るため、他の教科との調整や英会話指導内容を行い、各学校において均衡のとれた英会話授業展開に取り組む。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,110	4,110	3,288	822	



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・英語指導員は面接により選考を行い、英会話能力や指導力などを判断し採用したため妥当であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北中城村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-②	アメリカ教育機関ネットワーク形成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)	
担当部課名	生涯学習課	事業実施（予定）年度	平成24年度～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築 3-(1)	
事業内容	・米国の教育機関（ワシントン州立大学）とインターネット講座ができるWEBシステムを導入し、村内の小・中学生を対象（定員制）に、米国大学教員による集中講座を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	(a) 当初予算額	4,206					
	(b) 予算現額	4,318					
	(c) 増減額 (b-a)	112					
	(d) 前年度繰越額	—					
	A. 計 (b+d)	4,318	0				
	B. 執行済額	3,697					
	うち交付金充当額	2,957					
	次年度繰越額	0					
	執行率（％）(B/A)	85.6%					
予算の状況の説明	計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	WEBシステムの導入	目標	（ポリカムシステムの導入設置）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	ポリカムシステムの導入設置				
	米国大学教員による集中講座の開催	目標	（①小学生講座30回 ②中学生講座30回）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	①小学生講座29回 ②中学生講座29回				
達成状況説明	・児童生徒の英語力向上を図るとともに、本村の国際性に富む人材育成寄与することを目的に、小学生・中学生クラス各29回講座を開催することができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
	①小学生講座回数：30回 ②中学生講座回数：30回	目標	（ ）	（講座30回）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		講座29回			
	【参考指標】	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績					
	進捗状況説明	・講座スタート初年度にあたり、予定どおりのカリキュラムを実施し、受講生全員に修了証を交付することができた。					

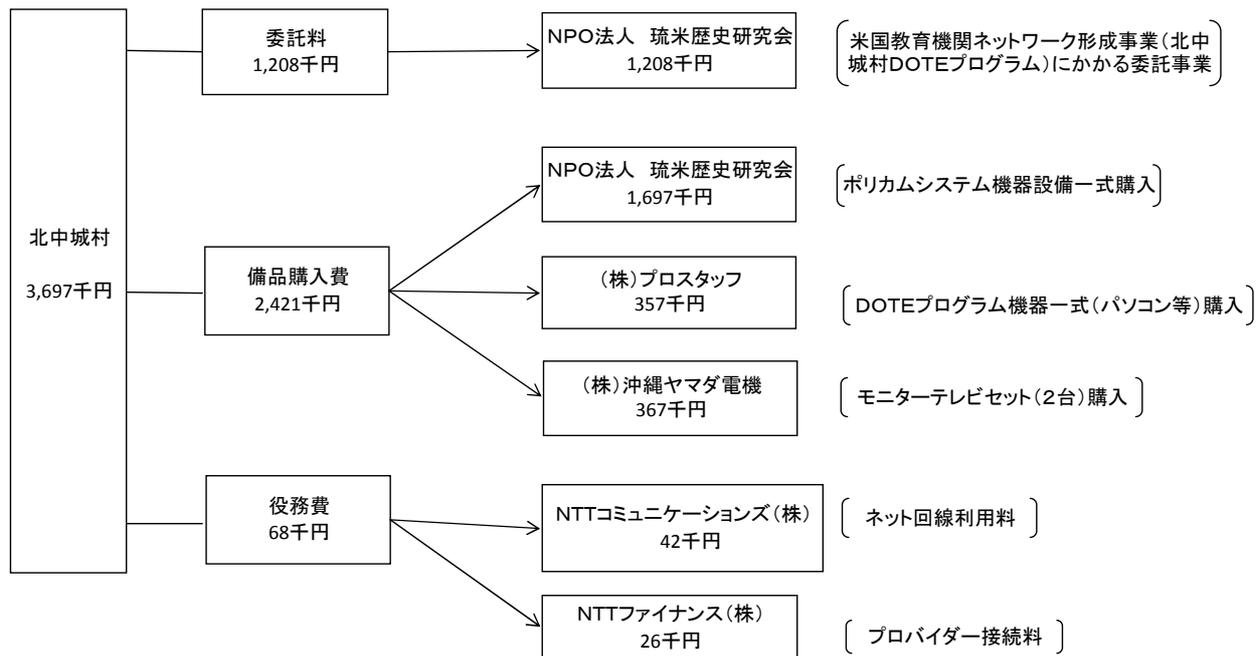
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・取り組み初年度ということもあり、土曜日・日曜日の講座開催ではありながら、受講生の学校行事及び部活動等の影響により開催できない日があった。米大学側等の日程調整に課題が残る。 また、当該年度内にTOEFLスコア取得に至らなかったため、現状把握と受講後のレベル把握に努める。</p>	<p>・小中学生を対象としていることから、学校行事等による非開催日が生じるのはやむを得ないが、予備日をもうける等の工夫が必要である。また、学校及び業務委託スタッフ等との綿密な事前調整や連携した体制づくりが必要である。</p>

今後の取り組み方針

・引き続き同事業を継続実施するとともに、受講生の志気を高めるためにも習得した語学が生かせる場、目に見えて結果がわかるTOEFLスコア取得等について、小・中学校と連携して積極的に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

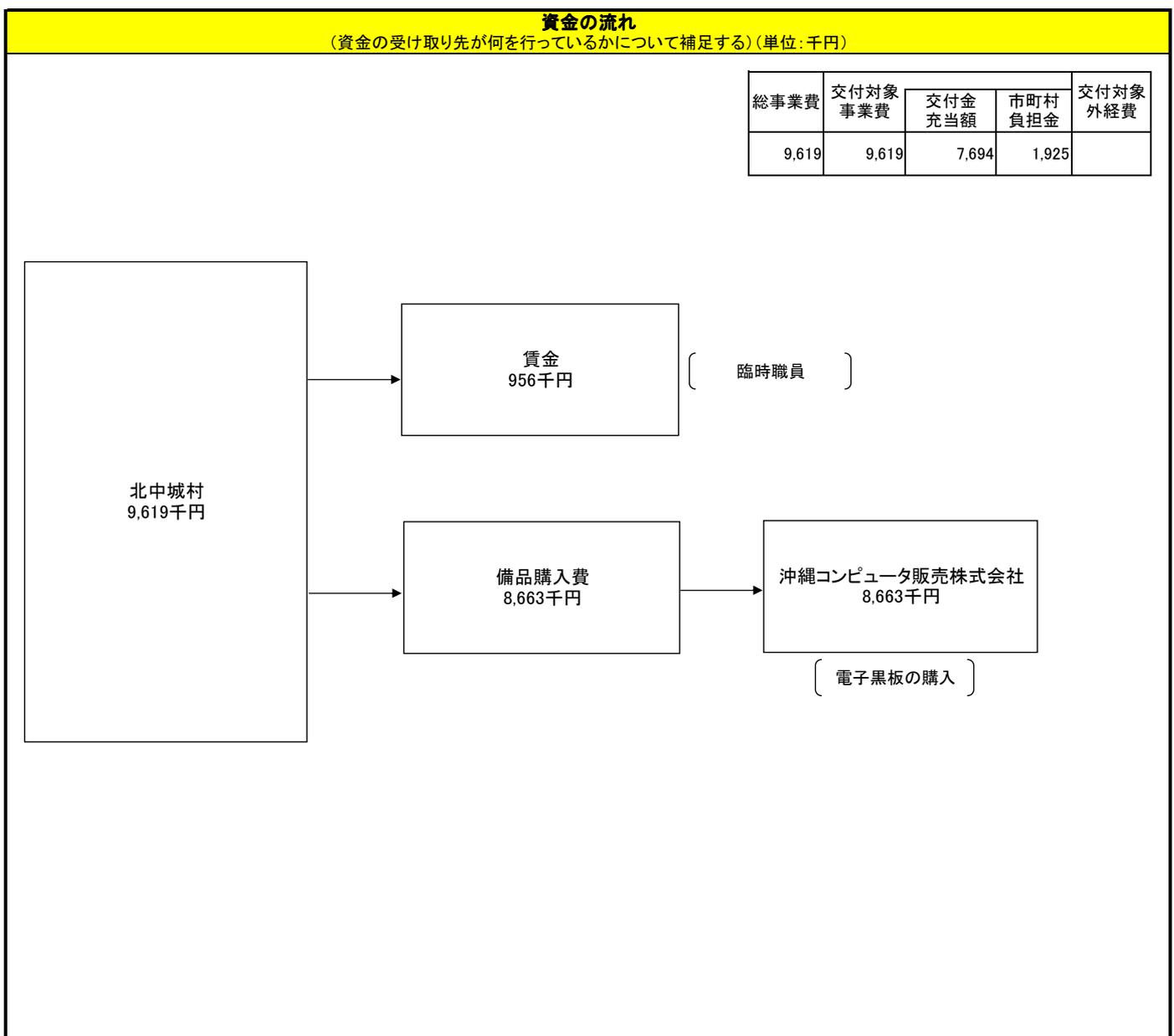
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,697	3,697	2,957	740	



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・米大学とネットを介しての講座は、自治体として初めての試みであり、その分野において唯一実績のあるNPO法人を委託先として選定しており妥当であったと考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	8-③	学校ICT活用指導支援事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育総務課	事業実施（予定）年度	平成24～33年度			沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築 3-(1)	
事業内容	・情報社会に対応できる人材育成や情報モラル教育の推進に向けて、学校ICT機能(電子黒板)の充実と操作指導を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,983					
		(b) 予算現額	10,983					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 前年度繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	10,983					
	B. 執行済額		9,619					
	うち交付金充当額		7,694					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		87.6%					
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況					
			24年度	25年度	26年度	27年度		
	PCインストラクター支援員配置数	目標	(1名)	()	()	()		
		実績	1名					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	・PCインストラクター支援員を1名配置し、村立小中学校(3校)をまわり、児童生徒に対しPCの操作指導やインターネットモラルなどのIT教育の推進を実践することができた。 ・学校ICT機能拡充を目的に電子黒板を整備し、更なるIT教育の推進を図った。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値 (年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (33年度)	
	PCインストラクター支援員配置数	目標	()	(1名)	()	()	(1名)	
		実績		1名				
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	・PCインストラクター支援員を今後も継続して配置し、児童生徒にインターネットモラルやPCの使い方などの情報教育の推進を図り、進歩を続ける情報化社会に対応できる人材育成を目指す。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ指導員を配置し、ITに関する専門的知識の享受やインターネットモラルなどの教育が充実したが、今後は経年等に伴う機器のリプレイスが課題である。 ・機器のリプレイスと併せて、IT教育の推進に伴う新たな教育ソフトの導入を検討する時期である。 ・学校ICTの推進によりタブレットを導入する市町村もあり、新たな機器の導入について検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒用PCのリプレイス及び教育用ソフトの更新時期の検証が必要である。 ・学校ICTの推進を目的としたタブレット導入の検討する必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒用PCの段階的なリプレイス、教育用ソフトの更新及び拡充、タブレット等の新たな機器の導入の検討する。 		



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・PCインストラクター指導員について、面接により選考を行い、PCの操作やITに関する知識などを判断し採用したため妥当であると考ええる。 ・電子黒板の購入について、指名競争入札を行い、落札した業者を契約を締結しており妥当であると考ええる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-①	琉球歴史風致資産調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア	
担当部課名	生涯学習課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	文化産業の戦略的な創出・育成 3-(2)	
事業内容	・本村独自の歴史を活かしたまちづくりに向けて、村内に所在する旧跡・文化財等の歴史風致資産の現況を把握するための現地調査（所見作成・写真等記録作成・位置測量）を実施する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	17,420				
		(b) 予算現額	17,420				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	17,420	0			
	B. 執行済額		16,748				
	うち交付金充当額		13,398				
	次年度繰越額		0				
	執行率（％）(B/A)		96.1%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	歴史風致資産の悉皆調査の実施 （総調査予定件数：800件）	目標	（ 240件 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	250件				
			目標	（ ）	（ ）	（ ）	
			実績				
達成状況説明	・平成24年度の事業実施により、村内の7字（仲順・和仁屋・比嘉・島袋・屋宜原・瑞慶覧・石平地区）の、歴史風致資産の現況を把握することができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）		基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（29年度）
	歴史風致資産の悉皆調査率：30% （240件）	目標	（ ）	（ 240件：30% ）	（ ）	（ ）	（ 100% ）
		実績		250件：31.25%			
	【参考指標】		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
			実績				
	進捗状況説明	・平成24年度の事業の達成状況はほぼ当初の予定通りで、今後も村内の他の字の歴史風致資産調査を継続していく。					

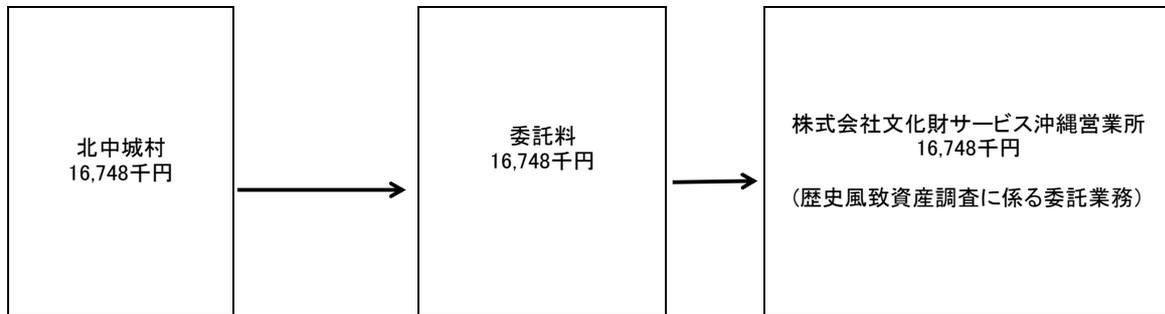
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 業者委託による悉皆調査のみでは、歴史風致資産の現状という一側面を捉えたに過ぎず、関連するその他の資料も収集してより深く掘り下げて理解する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 業者委託ではより難しい部分(関連資料の収集・聞き取り・祭祀等の調査)については、専門の嘱託員を配置し、直営で取り組む。

今後の取り組み方針

引き続き、業者委託による悉皆調査を実施するとともに、専門の嘱託員を配置し、業者委託になじまない補足調査(聞き取り・資料収集)や無形の祭祀の記録作成について、直営で実施する。そのための聞き取り調査や一般向けの解説の作成、さらに祭祀等の無形の歴史風致資産について、現地位調査と記録作成を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
16,748	16,748	13,398	3,350	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者とは指名競争入札を経て契約しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模は複数業者から委託仕様書にのっとった見積もりを徴したうえで、予算計上しているため適正な規模になっていると考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において、支出等に関する書類の確認の結果、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北中城村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-②		文化財情報データベース作成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア
							沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	生涯学習課		事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	3-(2)
事業内容	・村に收藏されている民具などの歴史資料を整理・分析し、将来的に村HP等で公開・情報発信することを目的として、平成24年度は、島袋ノロに関連する祭祀用具について、実測図等記録作成と材質分析を実施した。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,673				
		(b) 予算現額	1,673				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	1,673	0			
	B. 執行済額		1,470				
	うち交付金充当額		1,176				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		87.9%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	文化財データベース化の実施	目標	(11件)	()	()	()	
		実績	11件				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・島袋ノロに関連する祭祀用具11点の実測図等作成・材質分析を実施し、資料化することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	文化財データベース化率	目標	()	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	・平成24年度における達成状況については、当初予定していた通り進捗しており、今後も引き続き重要資料の分析・整理を実施し、最終的にすべての資料をデータベースとして統合・公開する。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・取り扱う民具等の資料に、重要度(種類・年代)の点で差があるため、資料の取り扱いについて留意する必要がある。</p>	<p>・取り扱う資料の重要度・優先度に応じて、業者委託分と直営で実施する分とを選別して資料整理にあたる方が効率的であるため、資料の種別によって委託と直営の仕分けのを検討する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・引き続き重要資料の整理・分析は、業者委託で実施するとともに、臨時職員1名を配置し、一般的な民具等の台帳化や公開用資料の編集にあたる。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	1,470	1,470	1,176	294	
<pre> graph LR A[北中城村 1,470千円] --> B[委託料 1,470千円] B --> C[株式会社文化財サービス沖縄営業所 1,470千円 (文化財情報データベース作成に係る委託業務)] </pre>					

資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者とは指名競争入札を経て契約しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模は複数業者から委託仕様書にのっとった見積もりを徴したうえで、予算計上しているため適正な規模になっていると考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において、支出等に関する書類の確認の結果、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北中城村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-②	幼稚園預かり保育給食対応事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
担当部課名	学校給食共同調理場	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実 4	
事業内容	・幼稚園預かり保育(午後)において、小・中学校と同様の学校給食を提供するため、賃金調理員の配置を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 前年度繰越額 A. 計(b+d)		608				
			608				
			0				
			—				
			608	0			
	B. 執行済額		453				
	うち交付金充当額		362				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		74.5%				
予算の状況の説明		・当初予算額は、98日分の賃金を予定、幼稚園の行事や振替休日、冬休み、春休みの給食を提供しない日があった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	食器・輸送コンテナ等の整備	目標	(一式)	()	()	()	
		実績	一式				
	調理員の配置数	目標	(1人)	()	()	()	
実績		1人					
達成状況説明	・幼稚園の預かり保育においては、以前、仕出しの業者に委託して、昼食を提供していたが、村の給食調理場の給食を利用することによって、小学校との連携や栄養教諭の食育指導等が可能となった。また、地域の方が生産した地元食材の利用を紹介することで、食に対する関心をさらに深めてもらうこともできた。 活動目標については、当初98日間の調理日数予定で積算していたが、学校の行事・振替休日等で73日の出勤となり約75%の執行となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(24年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	預かり保育実施幼稚園への給食提供数：600食/月	目標	(600食/月)	(600食/月)	()	()	()
		実績		328食/月			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	・当初予定していた成果目標は、幼稚園の行事や振り替え休日等もあり達成出来なかったが、今後、幼稚園においては午後の延長保育が検討される中、小学校へのスムーズな入学や、食育の目的等を考えると成果は大きいと言える。						

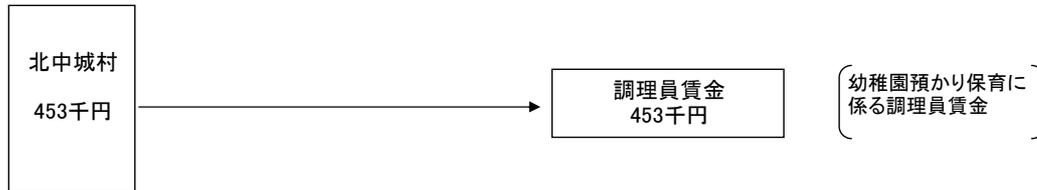
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・今後も幼稚園給食を推進していく上での課題として、預かり保育以外の園児に対する食育指導等があげられ、懸念される問題点として、アレルギー対応についてどのように取り組んでいくのか、協議を行う場を設けるなどの仕組みづくりが必要。</p>	<p>・現時点では、当初の目標を下回っているものの、身近な人達が、地域の食材を利用(場合によっては園児の親やおじいちゃんが生産している作物)しているなど、給食に関する関心を持たせることにおいては効果は出ていると考える。</p>

今後の取り組み方針

・今後の取り組みとしては、給食を提供していない園児への食育指導や、懸念されるアレルギー対応について、教育委員会、幼稚園、園医、父母との協議の場をもつことや、給食調理場、農家の仕事を見学してもらうなど更なる食への関心を持ってもらう取り組みが必要。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
453	453	362	91	0



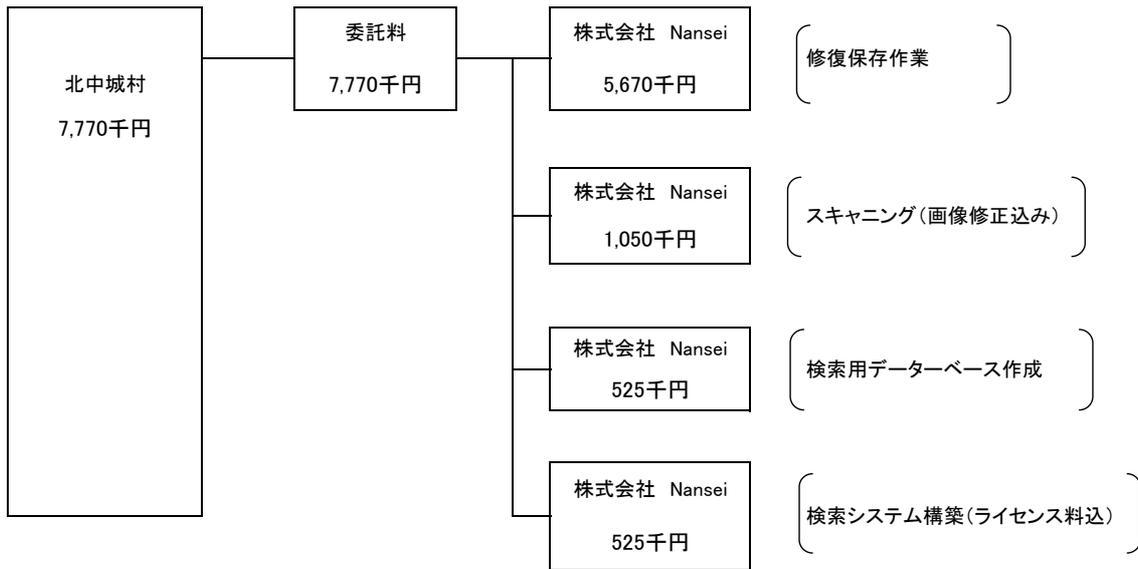
資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・支出先は、公募により募集し、資格、経験等を勘案した上での採用であり妥当と考えている。</p> <p>・受益者との負担関係においても、小・中学校同様、負担分については食材費に充ててることから妥当。</p> <p>・予算規模は村の規則にのっとり事業が行われており、費目も賃金のみと事業目的に必要なものに限定されている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北中城村					
平成24年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	11-①	臨時戸籍電子化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5)	
担当部課名	住民課	事業実施(予定)年度	平成24年度		沖縄振興基本方針該当箇所	米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決 4	
事業内容	・終戦直後に整備(約5,000枚)された紙資料の臨時戸籍の劣化が進み、保存状態が悪いことから、保存の為に電子化を行う。						
実施方法							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,100				
		(b) 予算現額	8,100				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 前年度繰越額	—				
		A. 計 (b+d)	8,100				
	B. 執行済額		7,770				
	うち交付金充当額		6,160				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		95.9%				
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	紙保存の臨時戸籍修復保存作業及び電子化の実施 対象数:5,000件	目標	(5,000件)	()	()	()	
		実績	5,000件				
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	・終戦直後に整備された臨時戸籍は、現住所異動履歴等の証明として発行していたが、紙資料のため著しく劣化が進み保存状態が悪く基礎資料としての維持が課題であったが、電子化により改善された。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	紙保存の臨時戸籍修復保存作業及び電子化実施率:100%	目標	(0)	(100%)	()	()	()
		実績		100%			
	【参考指標】		目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	・紙の臨時戸籍を修復保存し、目標数を電子化することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・終戦直後に整備された臨時戸籍は、紙資料のため著しく劣化が進み保存状態が悪く基礎資料としての維持が課題である。</p>	<p>・臨時戸籍データの管理徹底並びにセキュリティ及びデータバックアップ等の管理が求められる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・データ更新および安全管理の徹底と、適切な運営を図るとともに、仮戸籍・福岡仮戸籍の電子化に取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,770	7,770	6,160	1,610	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託事業者選定においては、援護業務を遂行するための必須機能を提示し、委託事業者については導入実績等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	